令和７年度 スクール・エンパワーメント推進事業（言語能力をはぐくむモデル校）

茨木市立平田中学校 学校公開研究会

１　研究主題

生徒が主体的に参加できる授業をめざして

～ゴールを見据えた言語活動の研究～

２　当日の予定

13:45　14:00　　14:50　15:00　　16:50

受付	公開授業	移動	全体会 （取組み報告・グループ討議・指導助言）	閉会

◎公開授業　　１４：００～１４：５０

学年	教科	単元	内容（言語能力とのつながり）
１年	国語	私のタンポポ研究	段落の役割とその関係性に着目した説明的文章の読み方を基本として、文章構成を考え、自分の意見と周りの意見を比較し、考えを深め合う。
２年	英語	What kind of job are you interested in?	将来像や夢というテーマを通して、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、スライドを活用して伝え合う。
３年	理科	運動とエネルギー ―エネルギー資源とその利用―	発電の仕組み、エネルギー変換方法、その長所、短所等を調べる活動を通して、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な活用と環境保全をはかることの重要性を理解する。

◎全体会

・SE 担当より学校の取組み報告
・授業実践報告
・グループ協議
・指導助言　　放送大学 客員准教授　　塩谷 京子 氏

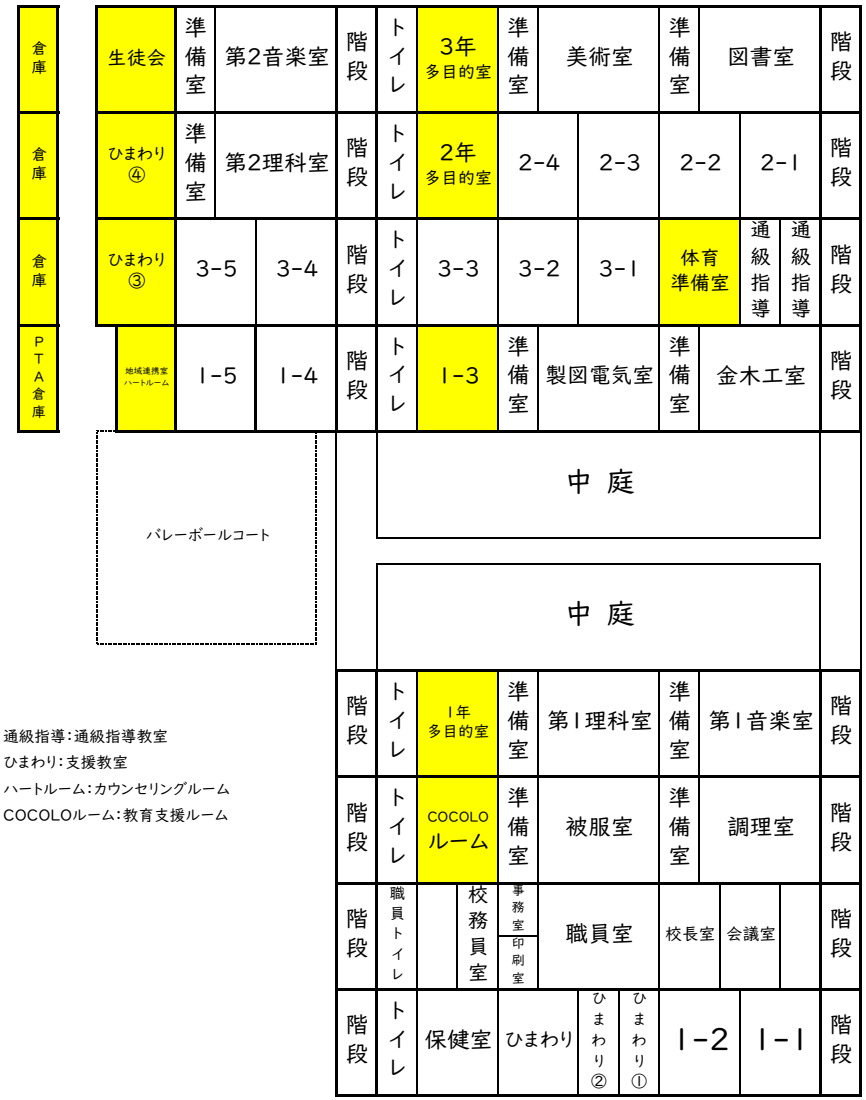


全体会グループ

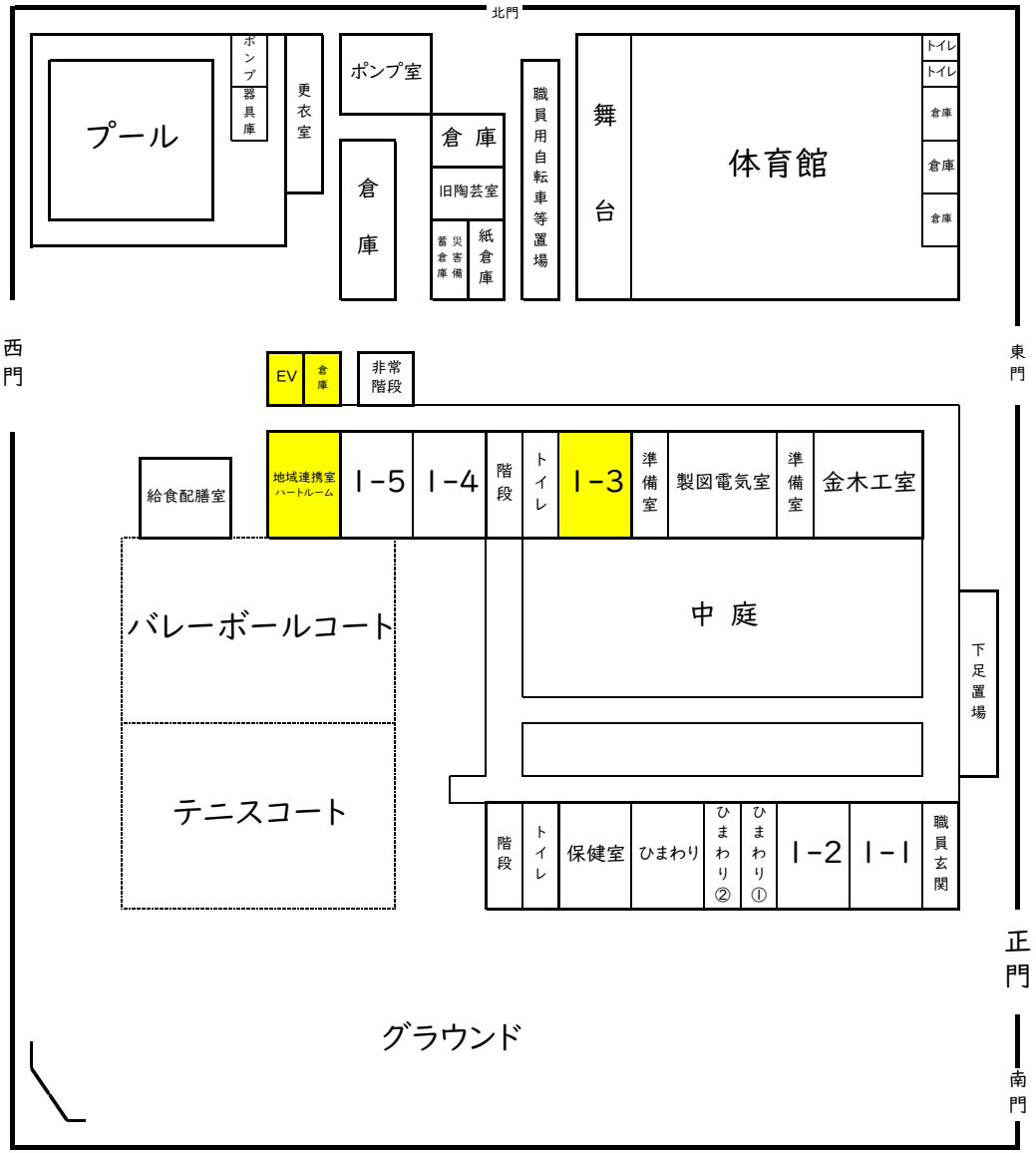
テーマ「学校図書館を活用した言語活動の充実」

令和7年度 茨木市立平田中学校 校舎配置図

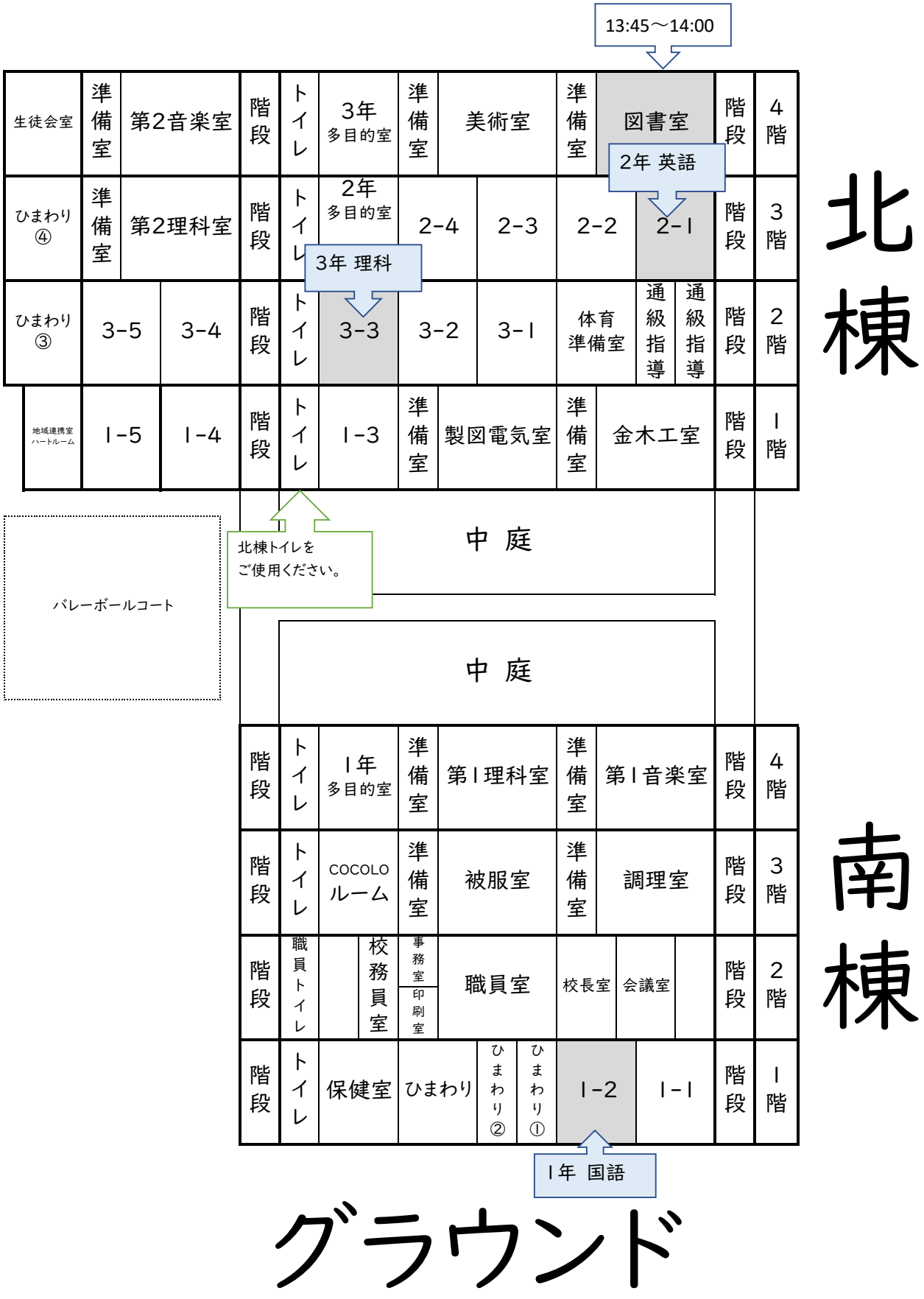
※普通教室・多目的室の教室配置につきましては、変更する可能性があります。



通級指導：通級指導教室
ひまわり：支援教室
ハートルーム：カウンセリングルーム
COCOLOルーム：教育支援ルーム



令和7年度 茨木市立平田中学校 校舎配置図



●茨木市立平田中学校　令和７(2025)年度　研究テーマ

「生徒が主体的に参加できる授業をめざして―ゴールを見据えた言語活動の研究―」

●めざす生徒像

令和 7(2025)年度　茨木市立平田中学校 グランドデザイン

『自己実現に向けて、仲間とともに学びつづける生徒』
～自分らしく　なりたい自分に～

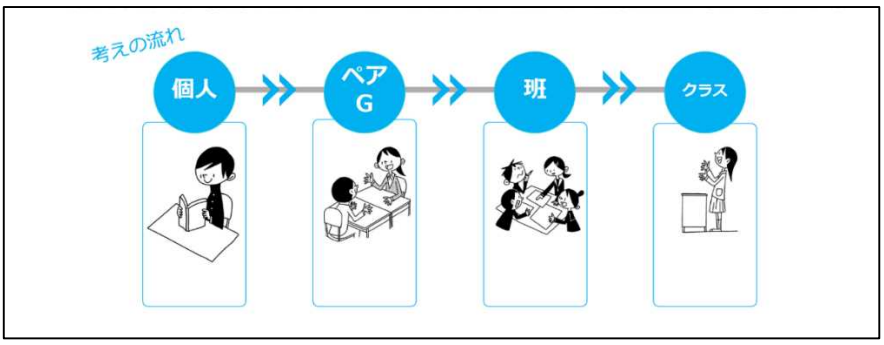
①自分や仲間を大切にすることができる生徒の育成
②自分の行動に責任を持ち、誰からも信頼される生徒の育成
③課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に学ぶことができる生徒の育成
④多様な他者と協働し、ともによりよい生き方を目指せる生徒の育成

「自分らしく（個性尊重）　なりたい自分に（夢の実現）」

「平田中スタンダード」

① 「Input」　「Think」　「Output」の流れを単元、または授業の中で設定する。

② 「考えの流れ」を大切にする。



③ 「目標」を明確にする。

「読解力とは」

基礎的・汎用的読解力の『読解力』とは「読み解く力」。

読み解く力の育成が意図しているところは、

認識（Input）、**思考**（Think）、**表現**（Output）＝“ＩＴＯ”（いと）であり、

「読み解く力」は「社会を生き抜くための力」の基礎となる力だと言えます。

【平田中学校　学力向上の歩み】

2022 年度	「授業のユニバーサルデザイン化」を進め、「読解力向上推進のモデル校」として、実践を始める。 読解力確認テストの受験も進め、在校生の現在の力を測る。 全教科で、本時の目標の掲示や、授業の流れの掲示、振り返りの時間の設定をするといったことを実践する。
2023 年度	
2024 年度	学校図書館を充実・活用するためのモデル校として、研究・実践をする。 学校図書館を活用した言語活動を通して、読解力の向上を目指す。 水曜日の朝に、視写の活動を開始する。 学習言語の習得が弱いのではないかと、読解力研究の有識者である新井紀子先生からアドバイスをいただき、弱点克服のために、視写を開始する。 文章の構成を正しく読み取ることや、文節で区切る読み取りの習慣づけ、語彙の習得、早く正しく文字を書けるようになることなどが主な活動の目的である。 **2025 年度も読解力の向上を基として言語能力の向上の取り組みを実践していくため、継続して視写も実施することになった。**
2025 年度	言語能力を育むモデル校になる。 **これまでの取り組みを基に、言語能力の向上を目指す。**

今年度、実践したいこと

平田中の現在の学力課題

全国学テやチャレンジテストの分析結果から、記述・説明問題に苦手意識があり、問題が正しく読めない、先生の話が理解できないなど、読解力に課題を抱えているのではないかと考え、読解力の向上をテーマに学校として取り組んできた。

また、分析結果から現3年生と現2年生では、解答している生徒の正答率は高いが、無解答率も高いという課題も見えている。

課題改善に向けて…

【　目標　】

生徒が主体的に参加できる授業を実践していく。

⇒　授業での、読解力の向上を意識した言語活動の中で言語能力の育成を目指す。

【　目標達成のために　】

「平田中スタンダード」を意識した、単元・授業の作成を実践する。

国語科の言語活動を参考に、各教科でつけたい力をつけるための言語活動を考える。

ミニ実践報告　一覧

※興味のある実践を二つ選んでお聞きください。ご質問等も歓迎いたします。

教科	内容
国語①	「私のタンポポ研究」の授業に至るまで
国語②	創作俳句　「絶滅の意味」レポートから「何のために働くのか」 Input→Think→Output の組み立て
数学	ふりかえり等、数学科の授業で大切にしていること　実践例　レポート
社会	アジア州―毎授業の小さな言語活動からまとめの言語活動へ　学校図書館活用 国調べ新聞―
英語	九州で出会った文化を英語で紹介しよう　英語科の授業で大切にしていること
保健体育	保健体育科の授業で大切にしていること
技術 （代理）	エネルギー変換の技術
２年総合	職業調べ（掲示・展示のみ？）
平田中 研究の流れ	UD から読解力向上の取り組み、GTM に至るまで

「明日からやってみようかな」と思える取り組みを、平田中からお届けします。

国語科　学習指導案

茨木市立平田中学校

１．日　時　　令和７年１０月２３日（木）第５時限　１４：００　～　１４：５０
２．場　所　　茨木市立平田中学校　第１学年２組教室(南校舎１階)
３．学年・組　　第１学年２組（３６名）
４．単元名　　保谷彰彦　「私のタンポポ研究」　　（使用図書・教科書：東京書籍「新しい国語１」）
５．単元の目標

・事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。［知識及び技能］(1) ウ
・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。［知識及び技能］(2) ア
・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。
［知識及び技能］(2) イ
・事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかむことができる。〔思考力，判断力，表現力等〕Ｃ（1）ア
・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。
〔思考力，判断力，表現力等〕Ｃ（1）ウ
・言葉が持つ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力，人間性等」

６．学校図書館活用のポイント

・身近なものに対する疑問を解決する際の重要な情報源として、図書を活用する。
・自分で適切な情報を入手する練習を行う。
●大阪府情報活用能力ステップシート(STEP４-C・STEP４-F・STEP４-G)

７．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	○自ら内容を把握するために読みを深め、読み取った内容と自分の考えを他者に説明しようとしている。 ○進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報に着目して要約しようとしている。

８．指導にあたって

（１）生徒観

全体的に学習に向かう姿勢としては素直で前向きである。学習内容に対して疑問点や自分の考えを持つことも、おおむねどの生徒もできている反面、学習語彙の積み重ねの弱さや、書くことへの苦手意識が強く、集中力を持続させて授業に取り組むことができないという課題がみられる。話し合い活動を活発に行いたいという意識や参加しようという意思はあるが、自分の考えを言語化して相手に伝えることが得意な生徒と難しい生徒の差が大きく開いているため、どの生徒にも「考えをまとめるヒント」や「相手の話を聴くときのポイント」などを指導していくことが必要である。

（2）教材観

「私のタンポポ研究」は「読むこと」における説明的文章の二つ目にあたる教材である。前出の「オオカミを見る目」では文章を構成する段落の役割とその関係性に着目して読みを深めていった。この教材においても説明的文章の読み方の基本を踏襲し、定着させることをねらいとする。その上で、グラフの読み取りを含めより内容を深く精査し、情報の選別、取捨選択を行い、どのような情報が必要なのかを見極めながら要約する技術を身に着けさせたい。

9．単元の指導と評価の計画（全８時間）◎…記録に残す評価　○…指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	・通読 ・語句の意味調べ	◎		○	【知】ワークに調べた意味が書けている、定期考査による評価 【主】授業内活動
2	・音読 ・文章構成を考える(個人ワーク)		○	○	【思】自身の考えを、本文中の内容をもとにプリントに整理して書こうとしている【主】授業内活動
3 (本時)	・文章構成を考える(班活動・話し合い)		◎	○	【思】プリントに班の考えをまとめている 【主】授業内活動を積極的に自分から取り組んでいる
4	・文章構成を確認する(全体)		○	○	【思】【主】授業内活動
5	・事実と筆者の考えを整理する	○	◎	○	【思】本文を整理してノートにまとめる 【知】【主】授業内活動
6	・整理した内容をふまえ、本文を要約する	○	◎	○	【思】前時までの取り組みをふまえ、事実と根拠を分けて要約することができている 【知】【主】授業内活動
7・8	・自分の身近な環境における疑問点を挙げ、図書を活用して答えを見つけてレポートにする	○	◎	◎	【知】レポート 【思】前時までの要約の仕方をふまえ疑問点に対する説明や例などを適切に書くことができる 【主】テーマに沿って、必要な情報に着目して要約しようとしている

１０．本時の展開（　3/8　時間目）

（1）本時の目標

・本文の特徴を捉え、文章構成を考えることができる。
・自分の考えを整理し、言葉にして班のメンバーに伝えることができる。
・周りの意見と自分の意見を比較し、考えを深めることができる。

（2）本時の評価規準

【思考・判断・表現】

・プリントに班で出た意見を整理し、考えをまとめて書くことができている。
・お互いの意見をふまえ、相違点に対して根拠を持って話し合い活動が進められている。
・「自分の意見を伝える、相手の意見を聞く」ことを適切に行っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

・授業内活動を積極的に自分から取り組んでいる。
・わからないところや相手の話で理解できなかったところを適切に聞き返すことができる。

（3）展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 (10 分)	○本時のねらいの確認 【本時のねらい】 ・本文の特徴を捉え、文章構成を考えることができる。 ・自分の考えを整理し、言葉にして班のメンバーに伝えることができる。 ・周りの意見と自分の意見を比較し、考えを深めることができる。 ○前時までの復習 ・文章構成を考える際の段落の役割の確認 ・自身が分けた文章構成の在り方の確認	・「オオカミを見る目」の時のノートを用いて振り返り、これまでの学びにつながりを持たせる ・自身の意見を本文中のことばをもとに説明する準備を促す	
展開 (35 分)	○班活動にて、お互いの意見を交流し、相違点を確認した上で、どのような文章構成になっているかを考える。 ・意見交流 ・お互いの意見の一致/相違を整理 ・説得力のある説明のしかたを考える ・自身が読み切れなかったところ、考えが及ばなかったところを班の人の説明を受け理解につなげる ・話し合った内容をプリントにまとめる ○班でまとめた内容から、オクリンクを使い発表ボードを作成する ・班で役割分担を行い、一人１枚は作成 ・各自が分担したボードをつなげ、班で代表者が提出 ○全体が提出できたら、クラス全員が発表ボードを見られるように切り替え、他の班の意見を確認する	・単なる意見交流にならないよう、説明の仕方を指導する(教科書のどこに何が書いてあるか、段落の役割は何か、何を根拠に分けたのかを具体的に説明させる)。 ・相手の意見を受け入れ、お互いの意見を比較するよう促す。 ・話についていけていない生徒がいれば、話の焦点がどこにあるのかを整理し、どの部分を読めばいいのかの助言を行う。 ・話し合い活動が行き詰っている班には、状況を整理させ、問題点とそれを考えるヒントになる部分を助言する。 ・役割分担が偏っていないかをチェックする。	○お互いの意見をふまえ、相違点に対して根拠を持って話し合い活動が進められている。 【思判表】※行動観察 ○授業内活動を自分から取り組んでいる。【主体】※行動観察 ◎プリントに班で出た意見を整理し、考えをまとめて書くことができている。【思判表】※ノートチェック
まとめ (5 分)	○ねらいを再確認し、ふりかえりを行う ○次回の授業の説明	・話し合い活動が適切にできていたかどうかを振り返る ・他の班との意見の相違点を比較するように指導する。	

（4）本時における具体的な生徒の状況（※本時の評価規準に関わる場面において）

おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）への支援
・プリントに班で出た意見を整理し、考えをまとめて書くことができている。 ・お互いの意見をふまえ、相違点に対して根拠を持って話し合い活動が進められている。 ・「自分の意見を伝える、相手の意見を聞く」を適切に行っている。 ・授業内活動を自分から取り組んでいる。 ・わからないところや相手の話で理解できなかったところを適切に聞き返すことができる。	・どの部分を読んで自分が考えたのかを声かけをして一緒に整理をして、どのように書いたらよいかの字助言を行う。 ・話の焦点がどこにあるのかを整理し、どの部分を読めばいいのかの助言を行う。

英語科　学習指導案

茨木市立平田中学校

１．日　時　　令和７年１０月２３日（木）第５時限　　14：00　～　14：50
２．場　所　　第２学年１組教室
３．学年・組　　第２学年１組（38 名）
４．単元名　　What kind of job are you interested in?
（使用図書・教科書：東京書籍　NEW HORAIZON English Course 2）

５．単元の目標
・将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。
【中学校学習指導要領　学習指導要領 第９節 外国語　２内容 (1) エ(イ)b (a) 、(ウ)g、 (2) イ】

６．学校図書館活用のポイント
・身近な職種・職業についての記事を読んで得られた情報を選択したり、抽出するなどして活用し、話したり、発表スライドにまとめたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現することができる。

●大阪府情報活用能力ステップシート（・STEP３-D ・STEP４-D）

７．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識]不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、するべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、話そうとしている。

８．指導にあたって
（１）生徒観
本学級は一斉授業を行なっており、学習に取り組んでいる。当初のグループ学習では自分の意見や考えを伝えることがあまりできなかったが、活動を繰り返すこと、意見や考えを交流できるようになってきている。間違いを恐れて発言できなかったり、全体の場で発言をすることに苦手意識を持つ生徒がいる実態があるので、安心して発言できる雰囲気づくりに教師と生徒で努めている。また支援や配慮が必要な生徒には寄り添って声掛けをしたり、学び合う雰囲気はある。個別の声掛けをすることで学習に取り組むことができるようになってきている。本単元の学習を通して、学んだことを社会や人生に生かそうとする学びに向かう力や人間性などが期待できる。

（２）教材観
将来像や夢というテーマを通して、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書き、自己実現につなげていきたい。文法事項に関しては不定詞を学ぶが、次の Unit 4 で登場する助動詞や動名詞に慣れるとともに身近な自己表現ができるように指導したい。聞き手を意識したプレゼンテーション活動を行わせたい。問題演習ではグループワークで取り組み、生徒同士で学び合う活動を繰り返しており、話し合う雰囲気づくりを常にとっている。
また自分の考えや意見を言語化すること、相手にわかりやすく伝えることも日々努めている。「自分らしく　なりたい自分」を意識した学習課題の発表をする生徒が増えてきており、本時のプレゼンテーション活動を通して相手のことを意識し、自分の思いを伝えるよい機会となることが考えられる。

９．単元の指導と評価の計画（全６時間）◎…記録に残す評価　○…指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	・不定詞（副詞的用法）の理解 ・教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えを書く。	◎	◎		【知識・技能】不定詞（副詞的用法）の文構造に関する知識を身につけている。 【思考・判断・表現】ワークシートに自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。
2	・教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えを書く。 ・不定詞（形容詞的用法）の理解	◎	◎		【知識・技能】不定詞（形容詞的用法）の文構造に関する知識を身につけている。 【思考・判断・表現】ワークシートに自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。
3	・不定詞（形容詞的用法）の理解 ・本文理解・音読	○	○		【知識・技能】不定詞（形容詞的用法）を用いた文の形・意味を理解している。 【思考・判断・表現】将来像や夢についての文章を読んで概要を捉えている。
4	・発表スライド作成		◎		【思考・判断・表現】自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いてスライドを作成している。
5	・発表スライド作成		◎		【思考・判断・表現】自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いてスライドを作成している。
6	・発表① （同じ職種のグループで発表）		◎	◎	【思考・判断・表現】自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いてスライドを発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】発表場面を動画で記録し、teams の機能を活用し、発表動画を提出させる。聞き手に学校図書館を活用したデータやグラフ、表を示すなどの聞き手の理解度を確かめながら発表しようとしている。
7 本 時	・発表② （異なった職種のグループでの発表【ジグソー活動】）		◎	○	【思考・判断・表現】自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いてスライドを発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】聞き手に学校図書館を活用したデータやグラフ、表を示すなどの聞き手の理解度を確かめながら発表しようとしている。

１０．本時の展開（7/7 時間目）

（１）本時の目標

・自分の将来像や夢などについて考え、調べ学習をした職業について説明・発表する。

（２）本時の評価規準

【思考・判断・表現】

・自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。

【主体的に学習に取り組む態度】

・将来像や夢について考え伝えるために自分の考えや気持ち、理由などを整理し、話そうとしている。

（3）展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 5分	○ warming up ・挨拶（日付、曜日、天候などについて英語で答える） ・単語集の新出単語を確認する。 ・単語集を使用し、新出単語の語句の確認をペア学習する。 本時の学習目標を共有する。	・アクセントや発音を意識させながら発語させる。 ・1 分間で英単語や単語の意味をできるだけたくさん発語させる。	
展開 40分	【本時の目標】 自分の将来像や夢などについて考え、調べ学習をした職業について説明・発表することができる。		
	○ 調べ学習した職業を発表する。 【班】 ・発表者はタブレット端末のソフト（ミライシード・オクリンク）を使用して発表する。 ・聞き手はワークシートにそれぞれの発表後に内容や自分の考えや意見、質問などを記入する。 ・各職業から代表1名が全体で発表する。 【全体】	○ タブレット端末のソフトを起動し、発表の準備をする。 ・オクリンクのスライドに示された英語を全て読むのではなく要点を発表するように指導する。 ・聞き手は発表者の発表を聞き終えたのちにワークシートを記入する。 ・各職業の代表の発表者の要点や聞き手からの質問などを整理して、全体に共有する。	○ スライドの発表で自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて、聞き手に伝わりやすいように工夫している。 （思考・判断・表現） 【発表】 ○ 各職業の発表を聞いて自分の意見や考えをまとめ記入する。 （主体的に学習に取り組む態度） 【振り返りシート】
まとめ 5分	○ 振り返り ・振り返りシートに本時の目標と達成度と分かったことを記入させる。 ・振り返りシートをもとに全体に共有する。	【活用する言語能力】 目的に応じて必要な情報を見つけ、それらを活用しながら、自分の考えを表現する力。	

（4）本時における具体的な生徒の状況（※本時の評価規準に関わる場面において）

おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）への支援
不定詞（副詞的用法・形容詞的用法）を用い、聞き手に自分の将来像や夢について考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ちを整理し、学校図書館の書籍からのデータなどを活用し、聞き手の理解度を確かめながら発表することができる。	「発音の仕方がわからない」生徒には事前の発音指導、「自分が使う英語が正しいのか自信がない」生徒には原稿の添削やモデル文を紹介することを通して、相手を意識して話せる状態になるよう支援する。

理科　学習指導案

茨木市立平田中学校

１．日　時　　令和７年１０月２３日（木）第５時限　１４：００～１４：５０
２．場　所　　茨木市立平田中学校　３年３組教室（北校舎２階）
３．学年・組　　第３学年３組（３５名）
４.単元名　　運動とエネルギー　５章　エネルギー資源とその利用（啓林館「未来へひろがるサイエンス」）
５．単元の目標

・日常や社会と関連付けながら、エネルギーと物質について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。〔知識及び技能〕
・日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。〔思考力，判断力，表現力等〕
・物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。

「学びに向かう力，人間性等」
【中学校学習指導要領　理科１分野(7)科学技術と人間　ア（イ）㋐、イ】

６．学校図書館活用のポイント

・考えの根拠として、さまざまな資料、データから読みとった複数の情報を活用し、自分の意見を表現できるようにする。
・目的に応じて、収集した資料を多面的、多角的に考察し、新たな意味を見いだすことができるようにする。

●大阪府情報活用能力ステップシート（・STEP４-C・STEP４-F・STEP４-G　）

７．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会と関連づけながら、エネルギー資源などの基本的な概念を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。	日常生活や社会で使われているエネルギー資源について、実験結果やデータを分析して解釈しているなど、科学的に探究している。	エネルギー資源に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

８．指導にあたって

（１）生徒観

本学級の生徒は、明るく楽しい雰囲気で学習にとりくむことができる生徒が多い。こちらからの問いかけにも前向きに答え、班活動やペア学習にも積極的にとりくむことができる。しかし、意見交流の際、自分の考えを文章にしたり、ことばで表現したりすることに苦手意識のある生徒が多い。主体的に課題にとりくむためにも、まず自分の考えを出させてから､他者との関りを通して自分の考えをより深められるような力を身に着けさせたい。

（２）教材観

「運動とエネルギー」では、力、水圧、仕事エネルギーについて日常生活や社会と関連づけながら理解させるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けさせることを主なねらいとしている。また、エネルギー資源や物質を有効に利用することが重要であることや、科学技術の発展の過程、科学技術が人間生活に貢献していることについても認識を深めさせたい。本章「エネルギー資源とその利用」では、日常生活や社会で使われているエネルギー資源について、実験結果やデータを分析して解釈することを通して科学的に探究する姿勢を養いたい。

9．単元の指導と評価の計画（全４時間）◎…記録に残す評価　○…指導に生かす評価

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	生活を支えるエネルギー ・水力発電、火力発電、原子力発電、地熱発電、太陽光発電、風力発電の発電方法のしくみと長所、短所について理解する。	◎			【知】いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解している。（ワークシート・定期テスト）
2	エネルギー利用上の課題 ・エネルギーを利用していく上での問題点を考える。 ・放射線の種類や性質、利用方法および、人体への影響を理解する。	◎	○		【思】エネルギーを利用していくときに、どのようなことが問題となるのか考えることができる。（ワークシート・定期テスト） 【知】放射線の種類や性質、利用方法、人体への影響を理解している。（ワークシート）
3 4 本 時 5	エネルギーの有効利用 ・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、どのような取り組みができるかを考える。 ・持続可能な社会をつくるためには新しいエネルギー資源やエネルギーの有効利用の方法の開発が必要であることを理解する。		◎	◎	【思】これまでの学習を振り返り、持続可能な社会をつくるために、エネルギー資源の開発や利用における課題について考察することができる。（レポート） 【主】学習を通して、理解が深まったことに気づいていたり、新たな疑問をもったりしている。（ワークシート）

１０．本時の展開（４/４時間目）

（１）本時の目標

・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、資料を根拠として、自分が住んでいる地域に合った発電所を考える。

（２）本時の評価規準

【思考・判断・表現】

・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、自分が住んでいる地域に合った発電所について根拠をもって科学的に考えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、自分が住んでいる地域に合った発電所について根拠をもって科学的に考えようとしている。

（３）展開

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 （5 分）	○それぞれ発電の長所、短所について調べたことを班ごとに発表する。 （原子力発電、火力発電、地熱発電、風力発電、水力発電、太陽光発電＋α（教科書に載っていない発電） ○本時のねらいの確認	・発表を聴きこれまでの学びを、住んでいる地域置き換えて考えるイメージを持たせる。	
	【本時のねらい】 ・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、資料を根拠として、自分が住んでいる地域に合った発電所を考える。		
展開 （20 分）	○茨木市の地域の特徴や課題を考えて、茨木市に発電所を建設するならどの発電が適しているか、また、どの発電が適していないかを班ごとに考え、レポートにまとめる。 （原子力発電、火力発電、地熱発電、風力発電、水力発電、太陽光発電＋α（教科書に載っていない発電）	・６つの発電＋αが茨木市に適した発電か、適さない発電かを班で考え、仕分ける。 ・発電ごとのレポートを各自で担当を決めて、これまでの調べ学習で学んだことをもとにまとめる。	・それぞれの発電所の長所と短所を理解して茨木市に合った発電所を選択し、根拠をもってレポートにまとめることができる。
まとめ （25 分）	○班ごとの発表を聴き、考えを深める。	・役割分担が偏っていないかをチェックする。 ・黒板に○○発電と書いたものを貼っておき、発表時に適した発電、適さない発電に仕分け、まとめたレポートを見ながら発表する。	
	【活用する言語能力】 目的に応じて必要な情報を見つけ、根拠を明確にして考えを持つ力。		

（４）本時における具体的な生徒の状況（※本時の評価規準に関わる場面において）

おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）への支援
それぞれの発電所の長所と短所を整理し、選択した発電所が茨木市に適していると考える根拠や適していないと考える根拠をレポートに記載している。	それぞれの発電所の長所と短所について、教科書の該当ページをもう一度確認するよう促す。

言語能力をはぐくむモデル校

生徒が主体的に参加できる授業をめざして
～ゴールを見据えた言語活動の研究～

茨木市立平田中学校

学校紹介

〇沿革

1980年　東中学校、南中学校を分離
　　茨木市12番目の中学校として開校

〇生徒数　510名

1年生　5クラス　2年生 4クラス・3年生 5クラス
（支援学級4クラス）

〇校訓　　自主・自律・友愛

2025年度　平田中学校図書館教育目標

年間目標

「読書」
読書活動を通して、広い世界に触れ、豊かな心を育む。

「情報・学習」
知的好奇心を引き出し、情報の収集・選択・活用能力を育成する。

学校図書館を活用した授業を通して…

①いろいろな本棚へ誘うしかけ

②教科書では学べないことを学ぶ

③子どもたちの思考を促す 力を伸ばす

- 中学校時代までに、本棚へ行き、
  本を探し、情報を集める経験を
- 各教科で学校図書館を活用した授業を行うことで、
  幅広い本棚へ行くのと同じ経験ができる。

NDC	分類	令和5年度	令和6年度(GTM含む)
0	総記	35	35
1	哲学	46	93
2	歴史	88	124
3	社会科学	134	195
4	自然科学	119	144
5	技術	38	85
6	産業	15	49
7	芸術	100	166
8	言語	28	79
9	文学	1,398	1372
絵本その他		22	24
合計		2023	2366

テーマ：学校図書館の活用による読解力向上と言語活動の充実

学校図書館

つけたい力

・自ら課題を設定して取り組む力
・正しく情報を活用する力
・自分の考えをまとめ、伝える力

取組みの概要・ポイント

・今までの平田中学校の学力向上の取り組みを土台にした、図書とICTを活用した情報
・図書委員会の活動に加えて、特集や展示を通して、「読書の芽」を育て、読書活動

思考力・表現力の育成につながる読解力の向上～情報活用能力を育てる学校図書館～

学校図書館を活用した授業づくり

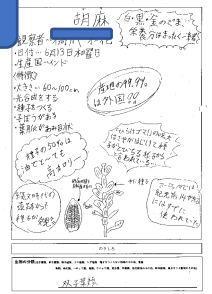
「I.T.O」 INPUT（認識）→THINK（思考）→OUTPUT（表現）を意識した授業

学校図書館を活用した言語活動の充実→教科としてつけたい力へ

１年理科
「身の回りの生物調べ」レポート

少しずつ段階を追って多面的、多角的に

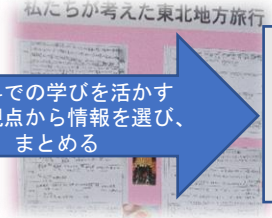
１年理科
「ランチ給食の献立」生物調べ
生物の特徴を調べ、共通点や相違点を見いだし、レポートにまとめる。





２年国語科
「自分流枕草子」
季節を感じるものを五感を使って目に浮かぶように描写する。

他教科での学びを活かす
多くの観点から情報を選び、まとめる



２年社会科
「東北地方旅行プラン」
東北地方の伝統文化・産業・食文化を体験できる旅行プランを作成する。



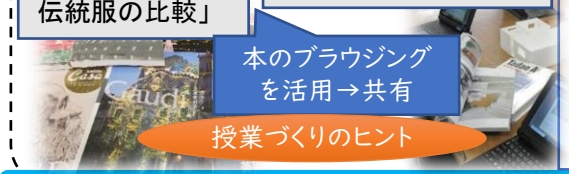
次年度への学びへつなげる～３年「創作俳句」

俳句作品を文化発表会で展示

家庭科
「日本と世界の伝統服の比較」

美術科
「憩いのある場所」

本のブラウジングを活用→共有



授業づくりのヒント

生徒の成果物の配架・掲示と本のリストの作成

作品の交流やよい作品に触れる機会の設定
・今後の取り組みのモデルとして冊子を図書室に配架
・作品の掲示物や冊子を懇談時に保護者と共有
・使用した本のリストを作成し、次年度の取り組みや他校の参考資料として保存・共有

本に親しむ場づく

図書委員会の活動ー「人を

・朝読寸劇・ブックトーク・平和読
・文化発表会での展示
前半期の取り組みをまとめて展示し、全校生徒に紹介。
推薦文と本をセットにして紹介＆学習内容に関する本の紹介など。

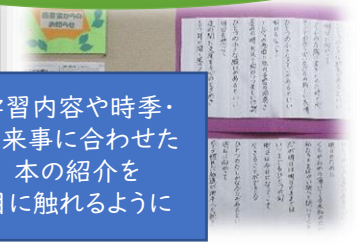


お気に入りの一冊をあなたへ

特集・展示

生徒の心に「たねをまく」「たがやす」



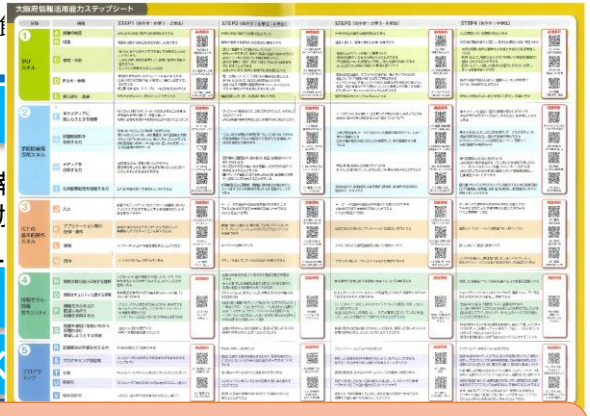


学習内容や時季・出来事に合わせた本の紹介を目に触れるように



学び方指導体系表
学び方指導体系表QR

使用した本のリスト
本のリストQR



大阪府情報活用能力ステップシート

取組みを通しての子どもの変容

図書や資料を活用し、言葉や内容、表現にこだわり、よりよいものに仕上げようと粘り強く取り組む生徒の姿が見られた。本を活用することで新鮮な発見があり、生徒の思考を促すことにつながっていると感じる。

	4月	7月	12月
図書館資料やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている。	33.4 %	40.5 %	42.0 %
学校図書館での学習や、本や資料を使って調べることは楽しい。	44.5	49.9	54.0

全国学力学習状況調査（生徒質問紙より）	肯定的回答の割合%		
質問	本校	府	全国
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	80.6	77.5	79.2
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	80	73.3	76.6
１、２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	72.2	63.7	63
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	77.6	76.2	76.2
数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	59.4	59	58.6
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	58.2	54.4	56.2

GTMふりかえり

学校図書館の活用が有効な場面を考える



よかったこと	課題
教科書だけでは得られない知識を習得したり、より生徒の生活に身近な教材を取り扱うことができた。	「つけたい学力のために図書を活用する」ことを忘れない。（図書活用は一つの手段）
本を囲んでの班ワークで一体感がうまれた。	辞書指導など帯活動として取り組もうとするときの時間確保が難しい
辞書指導で語句の関連語に触れる機会が増えた	数学科は教科横断的な課題設定でないと、図書活用につなげることが難しかった。来年度はデータの活用・分布・標本調査で取り組みたい。
インターネットでは辿り着けない穴場スポットを見つけたり、正式名称を素早く見つけたりすることができたり等、タブレットと図書の利点を感じながら調べ学習を行うことができた。	テーマによって、十分な本を用意することの大変さや返却期限などで補習の日程が限られてしまう。
インターネットに比べて不必要な情報に惑わされず集中して考えることができる。	本の活用の仕方がわからない生徒がいた。
子どもがテーマの中で興味があることに力を発揮できると感じた。	



生徒の作品と本をセットに

貸出や学習内容につなげる





新聞と一緒に本を







記事に関連した本を
手に取れるように

図書委員会の活動

ブックトーク

平和読書

巡回文庫

メッセージ性のある絵本や行事や取り組み関連、SDGsに関する本や心のサプリ









2025年度　平田中学校

図書館便り No.5

2025年7月16日発行

図書別貸出ベスト10

1　天久鷹央の推理カルテ　シリーズ
2　小説ブルーロック　シリーズ
3　#真相をお話しします
4　変な家　2
5　推しの子
6　星のカービィ　シリーズ
7　ペノム　求愛性少女症候群
8　ハイキュー！！ショーセツバン！！
9　一冊でわかる戦国時代
　英検準２級過去６回全問題集
10 恐い間取り
　川のほとりに立つ者は
　当たりすぎて怖い心理テスト
　爆笑テストの珍解答５００連発！
　さよならごはんを明日も君と
　あやかしお宿に好敵手きました。

クラス別貸出冊数ベスト5

1	1年4組	123冊
2	1年1組	72冊
3	1年5組	65冊
4	1年3組	58冊
5	2年4組	56冊

ベスト4までを１年生が独占しました！おめでとうございます！
図書室の掲示板では、個人別の貸出冊数ベスト 10 を発表しています。１学期の多読者ランキング１位の人は２年生で３５冊借りていました。

第７１回大阪府青少年読書感想文コンクール

◆対象図書◆
①自由読書　小説・童話・劇曲などの文学作品や科学・歴史・伝記などの図書
※フィクション、ノンフィクションを問わず。
※対象以外の課題図書も自由図書に含む。
②課題図書
『わたしは食べるのが下手』　天川栄人著
『スラムに水は流れない』ヴァルシャ・バジャージ 著
『鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者』竹内絵子 著
◆用紙・字数・規定◆
・原稿用紙 400 字詰め　５枚以内
・題名・学年は欄外に書くこと。
・原稿用紙に学校名・氏名は書かない
・ホチキスで右上をとめること。
・応募票が別途あり（提出者に配布）
◆提出期限◆　8月25日（月）
・提出は国語科の先生（１年⇒川﨑先生、２年⇒中川先生、３年⇒久瀬先生まで）



茨木市図書館を使った調べる学習コンクール

公共図書館や学校図書館を使って調べまとめた作品。身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなどテーマは自由です。
※調べる時に利用した資料名や図書館名を書いてください。
※作品の形態（目安）サイズ・ページ数
・A４サイズまで（模造紙などにまとめる場合は A４サイズに折りたたんで応募します。）
・50 ページ以内（目次・参考文献一覧は除く）
※締め切り　8月25日（月）　提出は担任の先生迄

放送で図書委員おすすめの本を紹介します。
今月は１年１組、１年２組、１年３組、２年２組、３年１組、３年３組が担当です。

7月のブックトーク

『失敗図鑑　すごい人ほどダメだった!』　大野 正人著　文響社



この本には、有名な歴史上の人物で、こんな人になれたらいいなと思っていた人の面白い失敗がたくさん書いてあります。こんなにすごい人でも、失敗はするということを改めて分かることができて、自分が失敗した時も大丈夫だと、勇気づけられます。
図書室に入って、分類２８０の伝記の棚にあります。すごく面白いので、ぜひ読んでみて下さい。
（１年１組）

『空飛ぶ広報室』　有川 浩 著　幻冬舎



不慮の事故で夢を絶たれた元・戦闘機パイロットの空井だいすけ。異動した先の広報室で待ち受けていたのは、ミーハー室長とベテランの一癖も二癖もある先輩たちだった。そして TV ディレクターと出会い、物語は展開していく。
僕は自衛隊や戦闘機が大好きでこの小説を選びました。広報室で起こっていることが面白く、事件が起こる展開も面白いです。ぜひ読んでみて下さい。　（１年２組）

『ネメシス』　今村 昌弘著　講談社



この小説は、2021 年にドラマ化され、2023 年には映画化された作品です。主人公の風真はお人好しの探偵で、助手のアンナは自由奔放だが実は天才、そしてダンディな社長の栗田が様々な事件を解決していくミステリー作品です。
この本の良いところは、ストーリーが分かりやすく出てくる人が魅力的な人ばかりで、読んでいて楽しいところです。私はこの本の面白さがもっと伝わればいいなと思います。ぜひ読んでみて下さい。　（３年１組）

『いのちの車窓から　2』　星野 源著　KADOKAWA



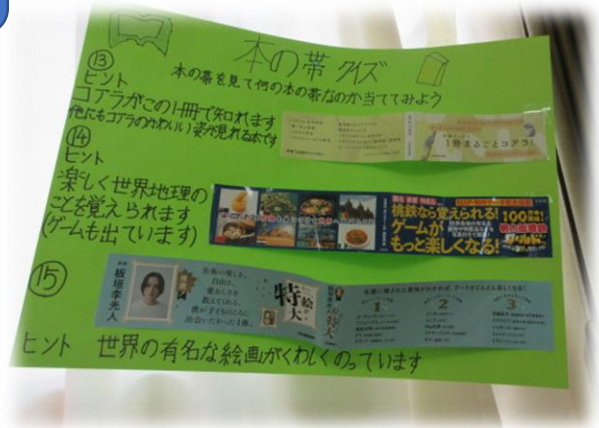
この本は、2017 年から 2023 年に雑誌『ダ・ヴィンチ』に掲載された原稿に、４編の書下ろしを加えた星野源のエッセイ集です。
この本には、星野源のコロナ禍での毎日、進化する音楽制作、大切な人との別れなど、約７年半にわたる日々と創作についてなどが書かれています。普段知ることのない生活の裏側が知ることができてとても面白いです。
（３年３組）

文化発表会の展示（図書委員会の活動）

図書委員
おすすめ本



本の帯クイズ





名言おみくじ

オリエンテーションで作った作品＆本





平和へのメッセージ



朝の読書











みんなでやる
毎日やる
好きな本でよい
ただ読むだけ

図書館オリエンテーション



・本が生まれるまで
（本ってすごい！）
・分類の話（NDC）
・情報の見つけ方
（目次、索引）
　　参考：赤木かん子さんの実践



おためし読書



さまざまな分類の本と出会う

思い思いに好きな本を探す

➡貸出へ

新たな発見
「こんな本もあるんや！」



たねをまく～「たがやす」～

・本と課題（つけたい力）をつなぐ
・子どもたちと本との出会い
　先生たちと本との出会い
・可能性を広げる
・職員室での会話→生徒の会話が変わる？





先生、これ
つくりたいねん。







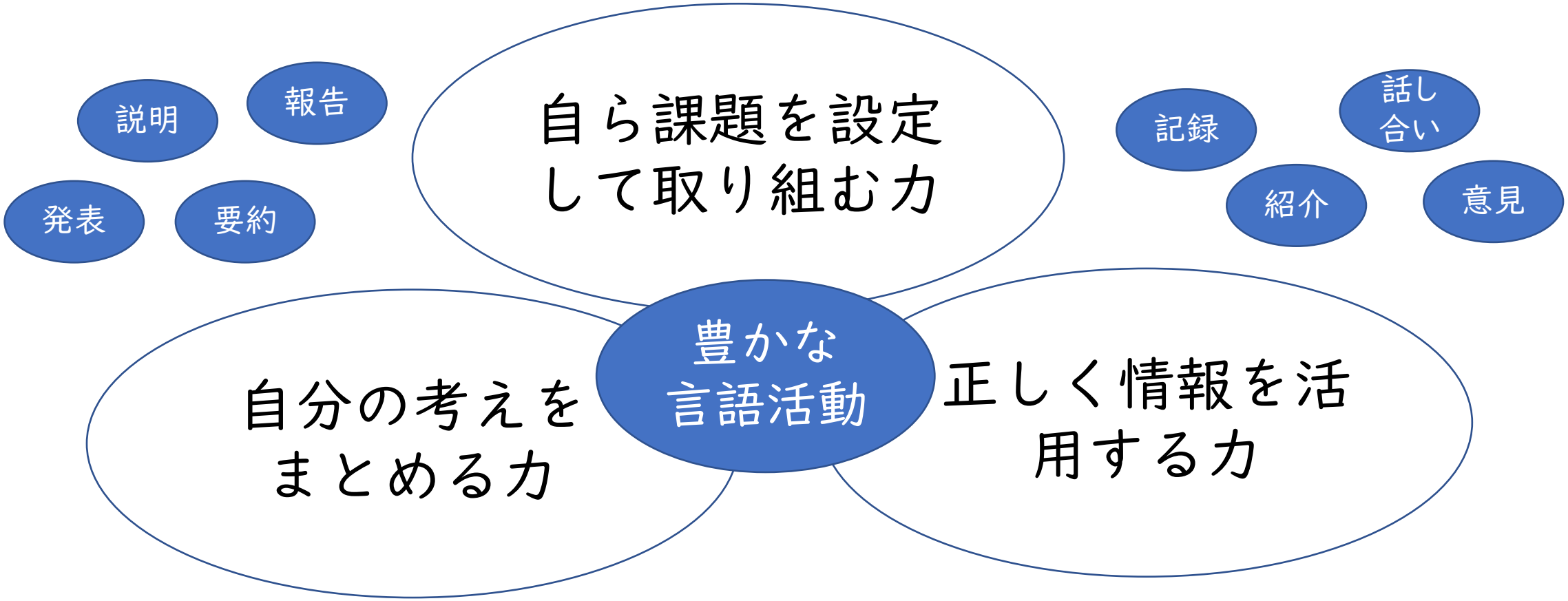


職員室前や特別教室前に掲示
授業や取り組み、時期と
コラボした内容に



掲示物＝
情報ステーション

つけたい力→生徒たちの「生きる力」へ

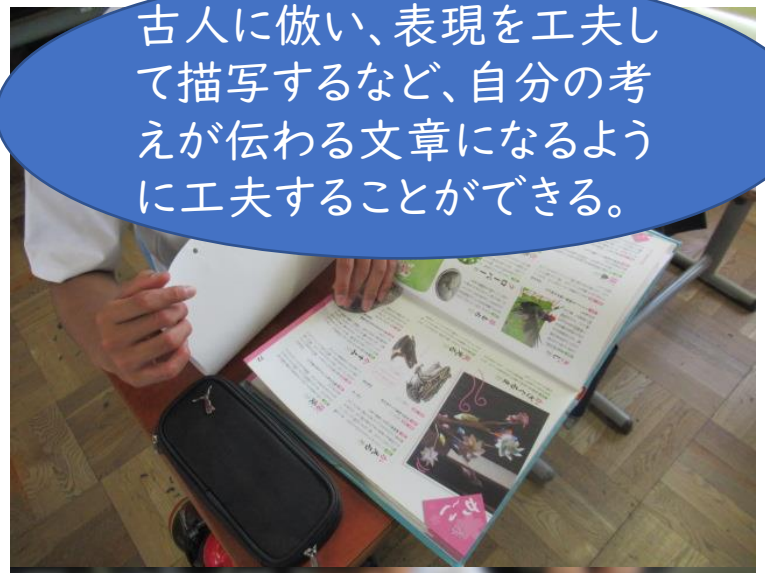


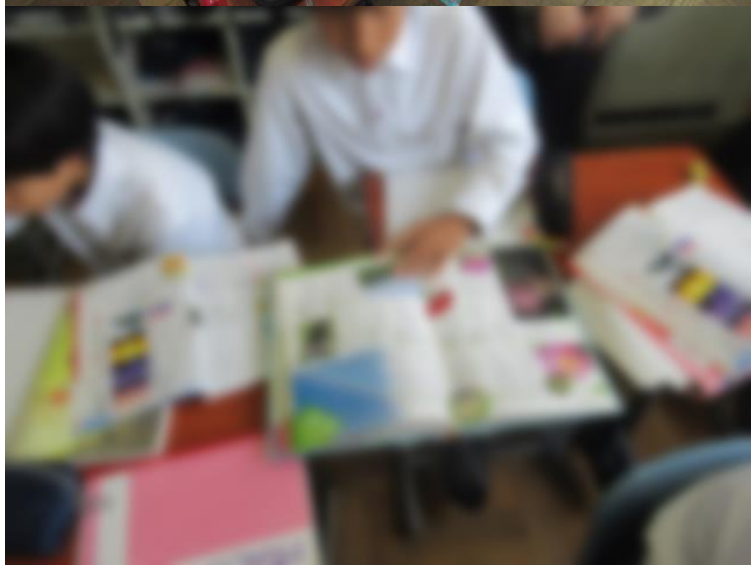
教科書を正しく読み取る力＝土台

読解力向上の取り組み

自分流枕草子・創作俳句

古人に倣い、表現を工夫して描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。







歳時記や季節の行事の本を活用

表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。

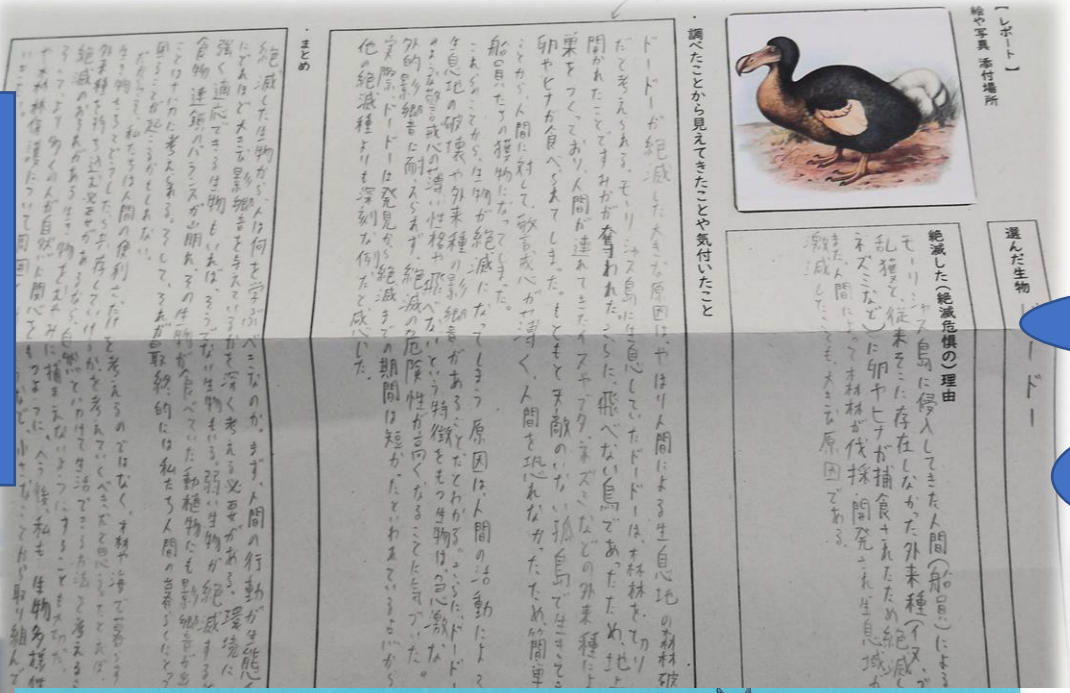


定番の活動も、図書やタブレットをプラスすることで、生徒たちの思考を促し、より深みのある内容へ

国語「絶滅の意味」関連レポート

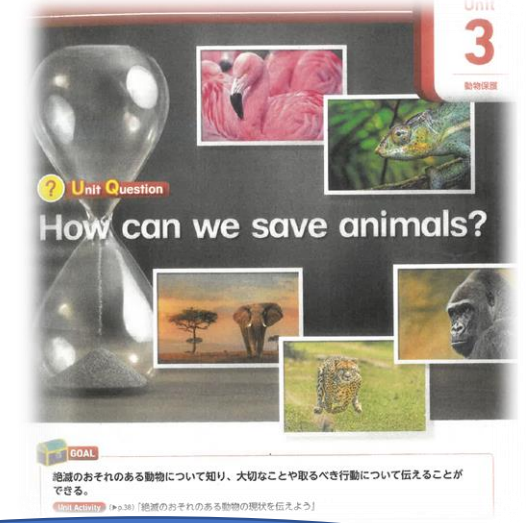
単元のはじめにゴールの言語活動を提示
通読後、関連書籍を見て、視野を広げ、読みを深める







過去の成果物をモデルに



英語科・理科とのつながり

本を通して対話
→深める・広げる



つながる学校図書館

主体的に学習する生徒をめざして
～ゴールを見据えた言語活動の研究～

NO.10　2025
文責：上山田朋子

和歌山市から視察

□先生、ありがとうございました！

３年国語科「何のために働くのか」□先生



「国語科とのつながり」根拠をもとにして、自分の考えを構築し、意見を述べる。

班で意見交流し、WB にまとめ、それを貼り出して発表



「自分は何のために働くのか」本文の内容をもとにして考える。お金のため？アテンション（他者からのまなざし）のため？
　予想される反論を考え、さらに自分の意見をブラッシュアップする。（以前の「絶滅の意味」の本文構成を踏まえた学習に）

□先生から

他教科でも使える力という視点を意識して授業づくりをしている。今回の授業は、根拠を明確にして、自分の意見を述べることができる力を意識している。今回は「つけたい力」で教科横断的な学習を行ったが、「絶滅の意味」という説明的文章では、理科や英語と内容的な教科横断的な学習を行うことができた。
　自分流枕草子や俳句、レポートなど創作的な活動を中心に学校図書館を活用した授業を行っている。

３年社会科　公民的分野「政党の役割」□先生



導入で生徒にとって身近な「きのこの山」と「たけのこの里」を使って、「政党」についてイメージをもつ
→ワークシートをもとに教科書で重要語句の確認

複数政党制のメリットとデメリットについて、資料を根拠に説明する。



□先生から

３年後「有権者」になる生徒たちに主体的に政治について考える土台をつくることを視野に入れて、授業を構成している。授業の導入で、「子どもたちをいかにひきつけるか」が重要だと思っている。国語科で学んだ内容「根拠をもとに説明する」ということを３回程授業の中で問うた。複数政党制について考え、選挙の学習へとつながる。
　昨年度、公開授業で「東北地方の旅行プランをつくろう」という学習を行った。「つけさせたい力」をつける授業が大前提―図書活用を通して、できるところとできないところがある。「図書活用をしなければならない」という意識から、図書活用に教師側が縛られてはいけないと思う。子どもの様子や変容は自分にとっては新鮮で、言語能力という観点からも活字に触れることは重要であると考えている。

視察された先生方から…

・授業の流れが丁寧でわかりやすかった。　・導入を大切にされていることがよくわかった。
・図書の活用の仕方が参考になった。・自発的に聞く姿勢等ができているのがすばらしい。
・他の班の様子を見て、根拠を具体的に探し始めていた。・小学校からつながる学習と感じた。

つけたい力を
こどもと共有

・目標の提示 「なぜ」「何のために」課題に取り組むのか
・何を学ぶのか、どうやって学ぶのか、何ができるようになるのか

単元で身に付けたい語彙の習得

・使える「ことば」にするために―「活用」する場面の設定
・どの教科でも使う語彙 ・教科としての語彙

単元・題材のゴールに向けた言語活動

・モデルを示す―教師のモデル、過去の成果物等
・材料を示す―各教科で使ってほしい言葉・学習用語
・ペア・グループでの交流―考えを広げる・深める・確かにする
・記録・要約・説明・論述

国語科で学ぶ「情報の整理」「情報と情報との関係」

	読む		書く	話す・聞く	その他	情報・他教科
	文学的文章	説明的文章				
			段落	事実と意見	表現技法	原因　観点
1年	随筆	要旨	叙述	話の中心と中心に関わらない部分	主語・述語・接続語	結果
	描写	要約	根拠	紹介		根拠
	情景描写	序論・本論・結論	助言	報告		比較
	文章の構成・展開		案内			分類
	表現の効果		報告			引用
	小説		創作			
			記録			
2年	人物像	内容の解釈	具体例	論理の展開	敬語	具体と抽象
				説明		
				提案		
3年	主題	論理の展開	批評			情報の信頼性
		論説				
		報道				

どの教科でも使う語彙

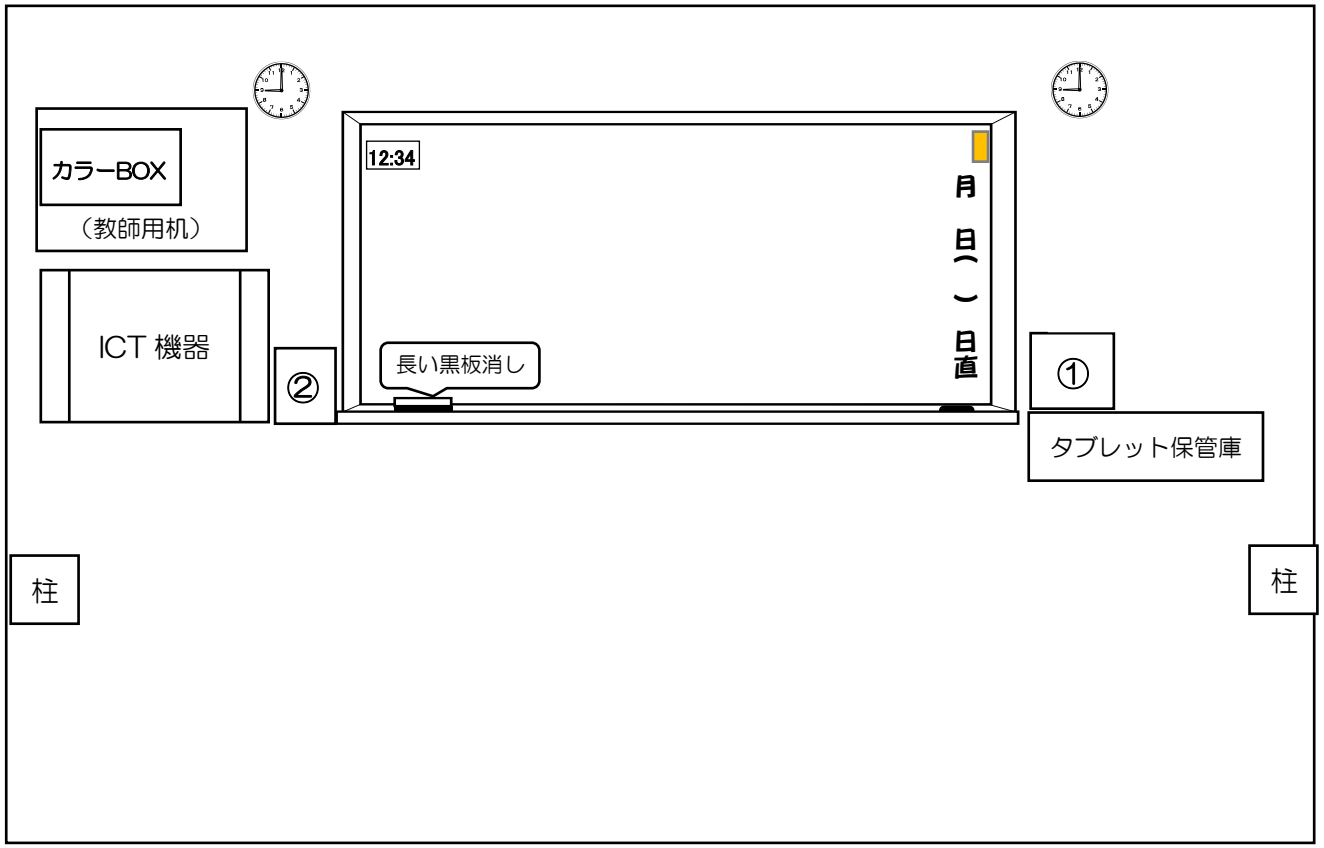
国語科で培う「ことばの力」

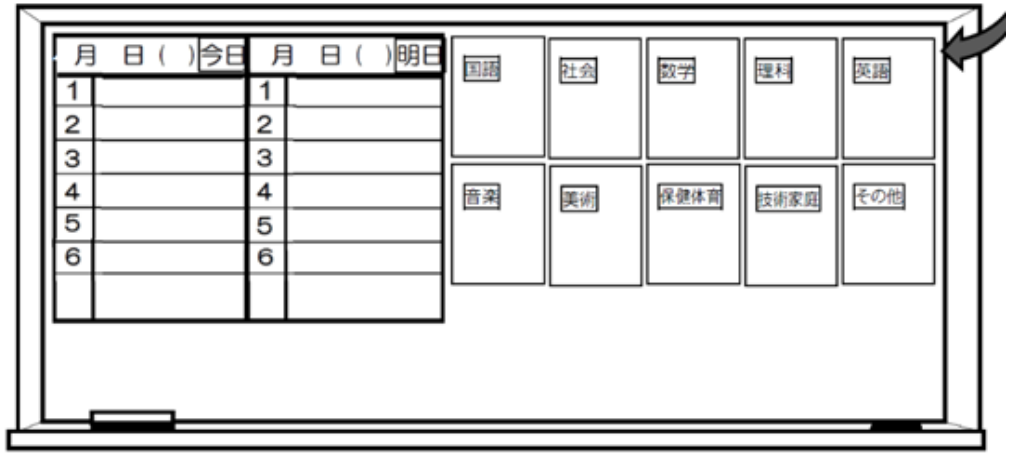
	読む		書く	話す・聞く	情報・他教科
	文学的文章	説明的文章			
1年	●詩の鑑賞	●段落の役割	●創作	●メモと質問	●情報の精査
	●場面の展開	●段落どうしの関係	●比較による題材設定	●スピーチの構成	●意見と根拠
	●場面と描写	●事実と考えとの関係	●レポートの構成	●聞き手を踏まえた話し方	●原因と結果
	●語り手・視点	●要旨	●構成メモ	●事実と意見	●引用
	●心情の変化	●要約	●図表の活用	●材料の収集と整理	●情報の比較・分類
		●情報の精査	●案内や報告の文章の書き方	●話し合いの進め方	
			●根拠の示し方	●話の聞き方・質問の仕方	
			●意見文の感想交換		
			●表現の工夫		
2年	●短歌の鑑賞	●文章と図表	●創作	●話し手の考えとの比較	●具体と抽象
	●作品の設定	●文章の読み比べ	●材料のさまざまな集め方	●説得力のある話の構成	●情報の関係の表し方
	●人物の言動の意味	●異なる印象を与える構成と表現	●推敲の仕方	●資料や機器の活用	●意見と根拠の吟味
	●人物像の変化		●根拠の吟味	●材料の収集と検討	
			●意見文の構成	●異なる立場や意見の尊重	
			●豊かな描写		
			●創作の感想交換		
3年	●俳句の鑑賞	●説得力のある文章	●評価	●話の予測と評価	●情報の信頼性の確かめ方
	●批評	●批判的に読む	●情報の信頼性と客観性の吟味	●相手や目的に応じたスピーチ	●具体例、根拠、反対の関係
	●作品の主題を考える	●情報を深く捉える	●目的に応じた文章の種類と構成	●場面に応じた話し方	
	●表現の工夫		●批評の観点	●多様な意見の想定	
	●対比と象徴		●文章全体の推敲	●合意形成	
			●材料の検討		

・学校図書館を活用した授業で使用した本のリスト
・図書館を活用した学び方指導体系表

学校のHPに掲載しております。

UDを意識した教室環境づくり





平田中の学力向上の取り組み

読解力→「読み解く力」
それの育成が意図しているところは“I.T.O”

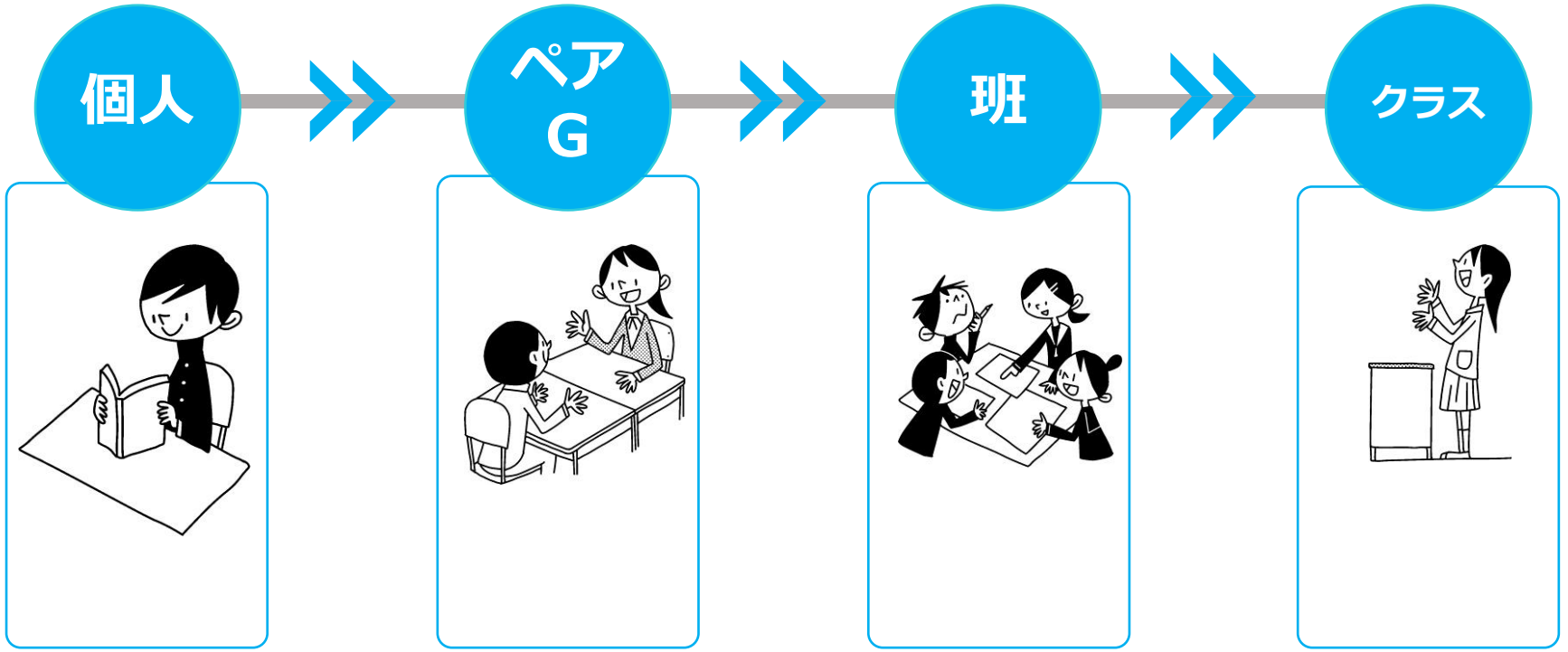
認識（INPUT）思考（THINK）表現（OUTPUT）

「読み解く力」は、
「社会を生き抜くための力」の基礎となる力。

―昨年度平田中ブロック研修会資料より引用

「ITO」を意識した授業や単元の流れ

「個人　⇒　ペア・グループ　⇒　班　⇒　クラス」のイメージ



「　認識　⇒　思考　⇒　表現　」の流れを授業者も意識している。

「3＋1」シート（授業見学シート）

～ 3つの「ありがとう」と1つの「どうぞ」 ～

【見学に際して】

「3つの参考になったこと」、「1つのアドバイス」くらいの割り合いで授業者の先生に見学シートを返せたらいいなと思います。

【授業見学のポイント】

授業を観察する際には、3つの観点（①教材 ②指導法 ③生徒）のうち、①教材から入ると「教科の壁」にあたり、②指導法から入ると授業者のみの責任となり、①②だけに注目していては、違う教科の教員が参加する場合では共有しづらく、新たな学びとなりにくくなってしまいます。**③生徒の様子や変容から入ることで、「教材」や「指導法」の深化を検討できるため、自らの授業や指導の在り方を振り返り、授業の見方を豊かにすることができると言われています。**

授業見学メモ　　見学者名（　　）

月	日	曜	限	年	組	教科	担当
						科	先生

・ 言語活動（とりくみ）等で参考になったこと。自身の授業に活かそうと思ったこと。

・ 生徒の学びが深まったと思ったことや、お気づきの点。

＊ 見学者は授業者にこのシートを渡してください。

＊ 受け取った授業者は、このシートを久瀬の後ろにある封筒に入れてください。

視写のススメ



茨木市立平田中学校
学力向上委員会
2024 年度

視写のススメ



「黒板の字がなかなか写し終わらない・・・」
「丁寧に書こうとすると時間がかかって・・・」
・・・こんなふうに困っている人はいませんか？

このような悩みを解決してくれるのが、「文をそのまま書き写す力」です。これを「視写力」といいます。
視写力がつくと、文をより速く正確に写せるようになります。
しかし、「速く文字を書けるようになる」ことだけが目的はありません。
視写力が上がると、「文節のまとまり」や「言葉のまとまり」、「意味のまとまり」をとらえられるようになります。そして、「まとまり」で文章をとらえられるようになると、一度に記憶できる情報量が増え、さらに書き写しの能率が上がるのです。

このように、視写力を鍛えることで、速く黒板の字を写したり、メモをとったりすることができるようになります。
教科書の文章を読むときや、テストの問題文を読むときなどに、「まとまり」をとらえる習慣が身についていると、文章の構成が頭に入りやすくなるのです。そうすると、学習をよりスムーズに進められるようになり、学力の向上にもつながります。

以上のように学習に大いに役立つ視写力ですが、一朝一夕では身につきません。日常的に視写に取り組み、習慣づけることが大切です。
そこで平田中学校では、「1週間に1回」朝読書の時間を使って「視写」に取り組むことにしました。

やり方は簡単です。教科書に載っている文章を「90秒で何文字書き写せるか」というものです。
しかし、速ければ良いというものではなく、一言一句、句読点にまで細心の注意を払って書き写すことが大切です。他の人と比較したり、スピードを競うものではありません。自分自身の集中力を高めていきましょう。

また、文章中の知らなかった言葉や表現に興味を持って調べることで、語彙力や表現力を豊かにすることにもつながります。そして、文章を読むことは読解力の養成にもなります。

ウラにつづく

視写は「まとまり」を意識して



「視写」をするときに気をつけてほしいことがあります。

それは、単語や文節など、「まとまり」を意識して、書き写すことです。

たとえば、『「かげおくり」って遊びをちいちゃんに教えてくれたのは、お父さんでした。』という文を書き写すときには、

「かげおくり」って / 遊びを / ちいちゃんに / 教えてくれたのは、/ お父さんでした。

のように、【「かげおくり」って】という「まとまり」を覚え、書くときは一気に書きます。
「かげ…」と書き始めたら、書き終わるまで元の文は見ないようにしましょう。

視写に慣れてくると、一文まるまるを暗記して書き写すことができるようになってきますよ。
継続は力なり…です。

実際にみんなが視写するのは、こんな感じ

上の例文を参考にして、下に書き写します。

意外と難しいですよ!!
楽しみつつやってみよう!!



90秒視写にチャレンジ

【 1年 生活 】 131字

| | | |

図書館を活用した学び方指導体系表

		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
		読書の楽しさを知り、正しい利用の仕方を身に付ける。図書資料には、題名・作者・訳者名などが書かれていて、情報を使うときにはマナーがあることを知る。	いろいろな種類の本を読み、課題解決に向けて学校図書館の資料を活用する。資料の利用の際は、出典を明らかにする。	目的に応じて、学校図書館の資料を活用し、主体的・協同的に学習に向かう。著作権を尊重し、情報の取扱いに気を付ける。	自ら調べたいことや知りたいことを解決するために学校図書館を利用し、考えの根拠として必要な複数の資料を活用する。
知る	図書館の利用	【国語】ビーバーの大工事	【国語】ほけんだよりを読み比べよう 【社会】昔を体験してみよう	【理科】メダカのたんじょう	【美術】憩いのある場所について構想を練る 【技術】エネルギー変換の技術
		身近なことや経験したことから、興味関心に応じて学習課題を決める	興味関心に応じて具体的な課題を決める。	目的や意図に応じて、適切な学習課題を決める。	社会課題に関する課題を中心に、目的意識や他者意識をもって学習課題を決める。
見つける	課題の設定	【図工】なが一いかみから	【社会】くらしとごみのしまつ 【社会】くらしをささえる水	【理科】大地のつくりと変化 【図工】墨から感じる形や色	【社会】東北地方の生活や文化を体験できる旅行プランを企画しよう 【理科】運動とエネルギー ―エネルギー資源とその利用―
		楽しんだり知識を得たりするために、図書資料を選んで読む。	目的に応じて、いろいろな図書資料を選んで読む。	目的に応じて、複数の図書資料を選んで比べて読む。	目的に応じて、最適な情報の収集方法（学校図書館やインターネットなど）を選択し、効果的に情報を収集・検証する。
つかむ	情報の収集	【特活・国語】いいところを見つけよう 【生活】大きくそだてわたしの野さい 【生活・国語】植物のひみつを見つけよう	【国語】自然のかくし絵 【国語】一つの花 【外国語】世界のいろいろな国のあい さつをしてみよう！ 【国語・図工】自然のかくし絵	【国語】新聞記事を読み比べよう 【国語】注文の多い料理店 【家庭科】食べて元気！ごはんとみそ汁 【社会】食生活を支える食料の産地 【国語】地域のみりょくを伝えよう	【数学】比例と反比例の利用 【英語】What kind of job are you interested in?
		集めた情報を、目的に合わせて順に並べる。	二つ以上の情報から共通点や相違点を見つけ、情報を分ける。	二つ以上の情報を目的に応じて比較・対照したり分類したりする。	二つ以上の情報を目的に応じて多面的・多角的に考察（原因を見つける・分類する・比較する）することで、自分の主張につなげる。
まとめ	情報の整理・分析	【国語】いろいろなふね 【特別活動】あしはらすいぞくかんをつくろう 【体育】どうぶつにへんしん	【図工】絵から聞こえる音 【算数】重さ	【図工】名画の鑑賞 【道徳】働くってどういうこと？ 【図工】くらべてみよう 【国語】いざというときのために	【理科】私たちの生活とさまざまな生物 【社会】アジア州の地球的課題
		相手や目的に応じた様々な伝達方法について知り、経験する。	相手や目的に応じて適切な方法を選んで表現・伝達する。	相手や目的・意図に応じて効果的な表現や伝達方法について工夫する。	相手や目的・意図に応じて、整理・分析した結果を相手に伝わるように組み立て、最適な表現方法（レポート・プレゼン等）を選択・工夫する。
伝えあう	発表・交流	【国語】たんぽぽ	【総合】「らしさ」について考えよう 【特別活動】みんながすごしやすい学校へ	【図工】学校へようこそ　ろうかを乗り物ワールドに 【保健】健康な生活をめざして～学びの成果を伝えよう～	【国語】自分流「枕草子」を書こう 【家庭科】日本と世界の郷土料理を調べてまとめよう 【国語】絶滅の意味レポート

本日は、よろしく
お願いします







はじめまして

塩谷京子（SHIOYA KYOKO），放送大学客員准教授，博士（情報学）
キャリアコンサルタント，静岡市在住

職歴・経歴：
静岡県公立小学校教諭，関西大学初等部専任教諭（中高等部兼務）を経て現職。
静岡大学教育学部，静岡大学大学院情報学研究科（修士課程），
関西大学大学院総合情報学研究科（博士課程）修了。

興味のある分野：
授業/学習環境デザイン，キャリア教育，図書館活用教育，情報リテラシー教育
趣　　味：近代美術鑑賞，世界史探求

大阪府教育庁SE推進事業 言語能力をはぐくむモデル校
<研究主題>
生徒が主体的に参加できる授業をめざして
～ゴールを見据えた言語活動の研究

<テーマ>
～学校図書館を活用した言語活動の充実
2025 1023　茨木市立平田中学校

chapter1　言語能力の育成の全体を眺めてみよう！
chapter2　平田中はどこに焦点を当てたのか？
chapter３　まとめ　これからに生かす

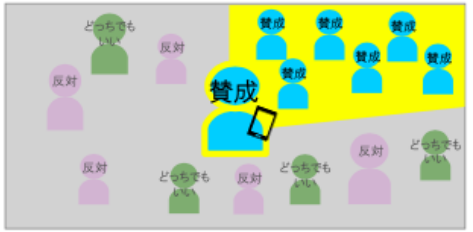
放送大学客員准教授　塩谷京子　博士（情報学）
kyoko.shioya@nifty.com

chapter1　言語能力の育成の全体を眺めてみよう

思い当たる節、ありますか？

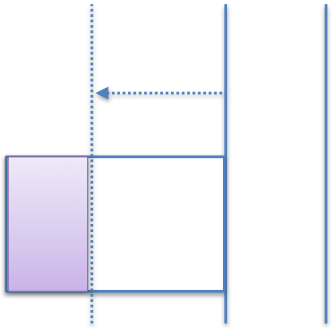
フィルターバブル現象

アルゴリズムにより、自分の考えや嗜好に合う情報がフィルターを通り抜けて提示されるようになり、**多様性を欠いた自分の好む情報「だけ」に囲まれ、その他の情報から隔離**されやすくなる状況。



Society 5.0の実現に向けた 教育・人材育成に関する政策パッケージ<中間まとめ>

部分に目が行き、全体は意識しないと見えない・・



小学校の通学路になっているが、道が狭く危険である。
市は、道を広げ歩道を作りたいと考えている。

Sさんは、どうしたらいいのでしょうか？

どちらの立場に立ちますか？

生徒は、どちらに目が向きやすいのか

個人と社会　という相対する観点で全体を見る

視野を広げるために、小学校、中学校の系統は・・

小学校低学年

おわり　なか　はじめ

小学校中学年

おわり
↓
結論

なか　→　本論

はじめ
↓
序論

中学校

どんな切り口で分ければ、「もれなく、ダブりなく」網羅できますか？



例えば、飲料メーカー名

そのためには、切り口がいる　**観点**

全体を眺めた上で、この部分に焦点を当てよう・・

言語能力　**探究の過程**　情報活用能力　重要

総則　学習の基盤となる資質・能力

第２　教育課程の編成

２　教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

（１）各学校においては、児童の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

言語能力　情報活用能力　問題発見・解決能力

言語能力の育成の全体像　何を学ぶか

4.教育内容の主な改善事項

国語科

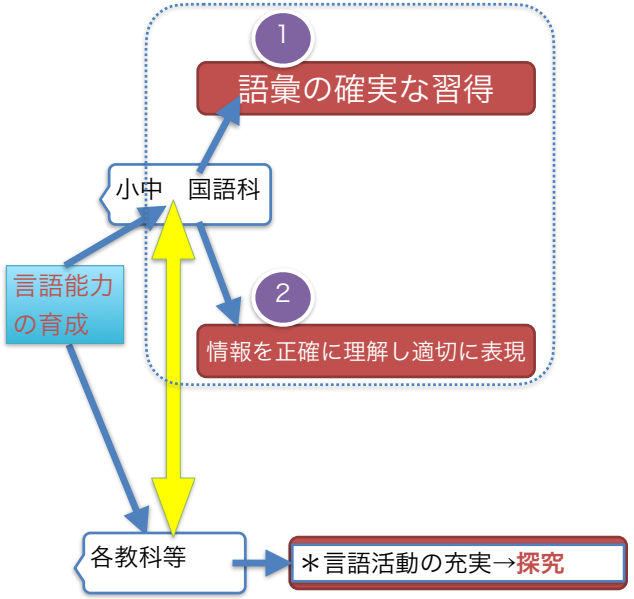
言語能力の確実な育成

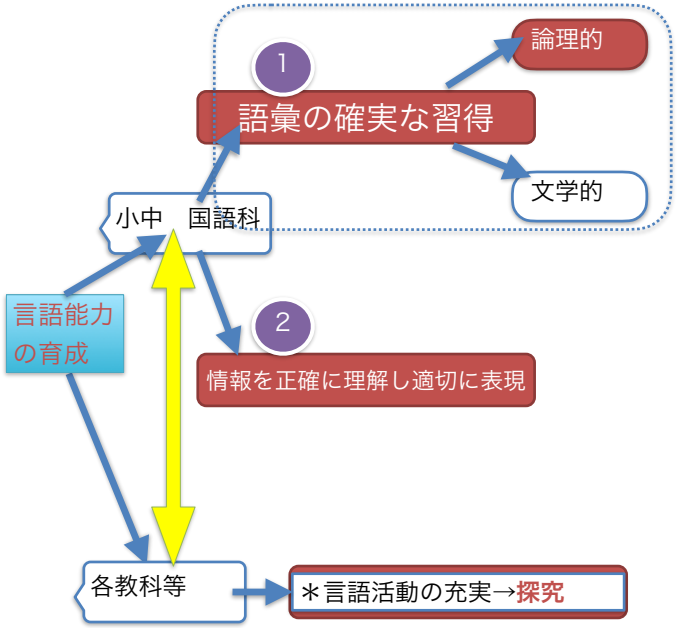
- 発達の段階に応じた、①語彙の確実な習得、②具体と抽象を押さえて考えるなど情報を正確に理解し適切に表現する力の育成（小中国語）
- 学習の基礎としての各教科等における**言語活動**（実験レポートの作成、立場や根拠を明確にして議論することなど）の充実（小中総則、各教科等）

各教科等

- 理数教育の充実
- 伝統や文化に関する教育の充実
- 道徳教育の充実
- 体験活動の充実
- 外国語教育の充実

子供が、学校で出合う言葉
・教師/友達から見聞きして
・自分が説明して
・板書・掲示物・本などを読んで





一つのことばですが、

一般的な事実をもとに

論理のことば

夏

自分のイメージをもとに

感性のことば

同じ夏ということばでも、使い方が違います

両方学ぶのが国語であり、両方扱っているのが学校図書館です

どちらのなかまでしょうか？

- 説明文

論理のことば

概念を示す働き

夏

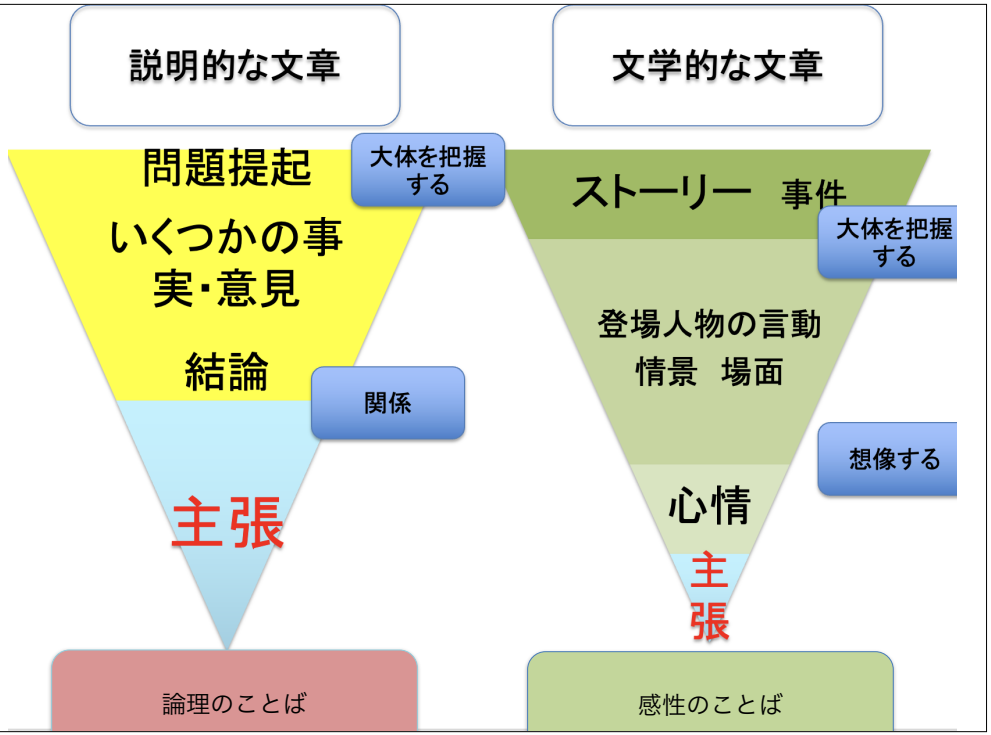
1 詩
2 短歌
3 レポート
4 論説文
5 小説
6 報告文
7 評論
8 論文

- 物語文

感性のことば

詩的イメージを想い起こさせる働き

両方学ぶのが国語であり、両方扱っているのが学校図書館です



読むためには

論理のことば　感性のことば

- 語彙を習得する

説明的な文章を読む時の語彙
・自然科学用語　→低学年が好き
　具体性があり、数多くある
・社会系の用語
　具体性がない　抽象概念

文学的な文章を読む時の語彙
・形容詞/副詞　単語に出合うには？
　・物語を読むこと①
　・本を読んでいて使っている大人②
　・言葉は生きているので①②が必要

- 読み方を学ぶ

説明的な文章の読み方
・文章の構成
・事実と意見の関係
・主張は何か

文学的な文章の読み方
・登場人物
・言動や情景から心情を想像する
・主張は何か

読むためには

国語科の読むこと

論理のことば　感性のことば

- 語彙を習得する

説明的な文章を読む時の語彙
・自然科学用語　→小低学年が好き
　具体性があり、数多くある
・社会系の用語
　具体性がない　抽象概念

文学的な文章を読む時の語彙
・形容詞/副詞　単語に出合うには？
　・物語を読むことで①
　・本を読んでいて使っている大人②
　・言葉は生きているので①②が必要

- 読み方を学ぶ

説明的な文章の読み方
・文章の構成
・事実と意見の関係
・主張は何か

文学的な文章の読み方
・登場人物
・言動や情景から心情を想像する
・主張は何か

読んだことと体験などをつなげて感想/考えをもち、対話する

読むためには

学校図書館との関係

論理のことば

感性のことば

語彙を習得する

説明的な文章を読む時の語彙
・自然科学用語　→小低学年が好き
　具体性があり、数多くある
・社会系の用語
　具体性がない　抽象概念

文学的な文章を読む時の語彙
・形容詞/副詞　単語に出合うには？
　・物語を読むことで①
　・本を読んでいて使っている大人②
　・言葉は生きているので①②が必要

読み方を学ぶ

説明的な文章の読み方
・文章の構成
・必要な情報の見つけ方
・主張は何か

文学的な文章の読み方
・登場人物
・言動や情景から心情を想像する
・主張は何か

読んだことと体験などをつなげて感想/考えをもち、対話する

論理のことば

自然科学用語　社会系の用語

＜特徴＞
・分野ごとにたくさん存在
・具体的でイメージしやすい
・小学校低学年の子供が好きで、すぐに覚える
・小さい時に言葉が入らないと、初めて聞く言葉が多すぎて、自然科学が嫌いになりやすい

食物連鎖　赤潮
太陽系　銀河系　皆既月食　惑星
爬虫類　哺乳類　絶滅危惧種

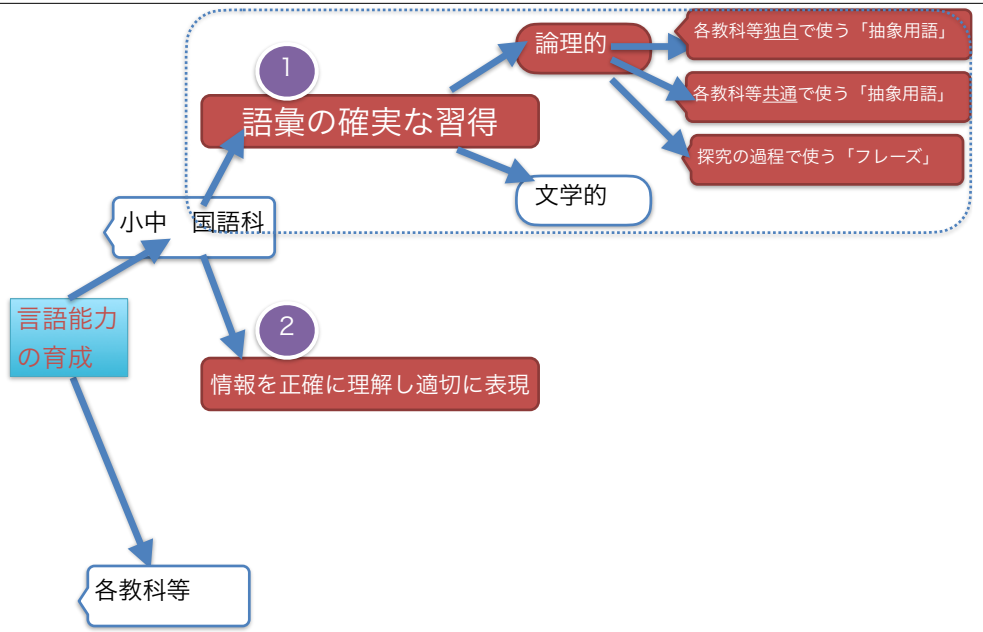
写真・絵を見てわかる

＜特徴＞
・抽象的な用語が多く、身の回りに目が向く年齢にならないと、入りにくい
・概念的な用語が多く、文脈で捉えているので、子供によって捉え方が違う

姉妹都市　国道
リサイクル
貿易　モノカルチャー経済
バイオエタノール
レアメタル
再生可能エネルギー

概念が必要！

言葉のシャワーが必要



事例）発電のしくみ：
1 確実な語彙の習得　（論理的）

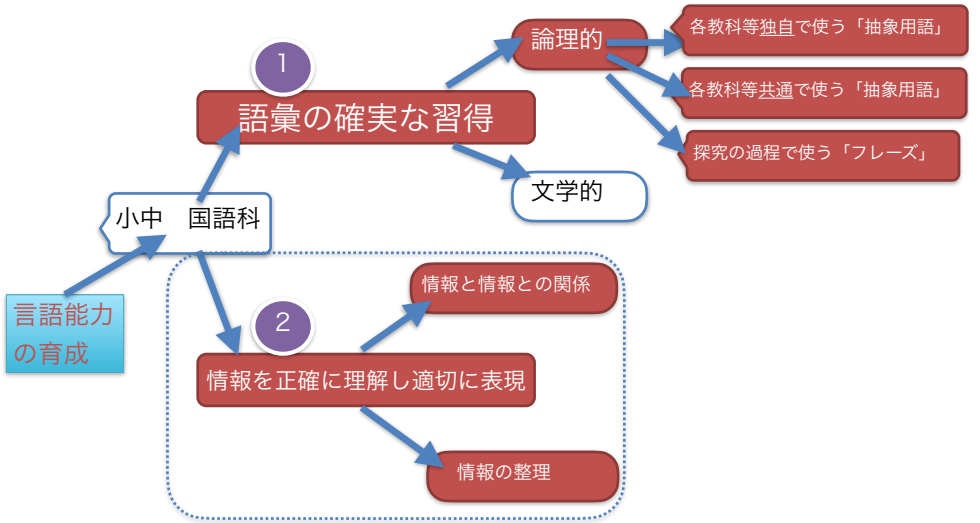
・理科　運動とエネルギー

時	主な学習内容	知技	思判表	主体	評価規準・評価方法
1	生活を支えるエネルギー ・水力発電、火力発電、原子力発電、地熱発電、太陽光発電、風力発電の発電方法のしくみと長所、短所について理解する。	○			【知】いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解している。（ワークシート）
2	エネルギー利用上の課題 ・エネルギーを利用していく上での問題点を考える。 ・放射線の種類や性質、利用方法および、人体への影響を理解する。	○	○		【思】エネルギーを利用していくときに、どのようなことが問題となるのか考えることができる。（ワークシート） 【知】放射線の種類や性質、利用方法、人体への影響を理解している。（ワークシート）
3 4 本時 5	エネルギーの有効利用 ・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、どのような取り組みができるかを考える。 ・持続可能な社会をつくるためには新しいエネルギー資源やエネルギーの有効利用の方法の開発が必要であることを理解する。 目的に応じて必要な情報を見つけ、根拠を明確にして考えを持つ力。		◎	◎	【思】これまでの学習を振り返り、持続可能な社会をつくるために、エネルギー資源の開発や利用における課題について考察することができる。（レポート） 【主】学習を通して、理解が深まったことに気づいていたり、新たな疑問をもったりしている。（ワークシート）

教科独自の語彙
教科共通の語彙
探究の過程で使うフレーズ

語彙：授業でよく使う、言葉やフレーズは？

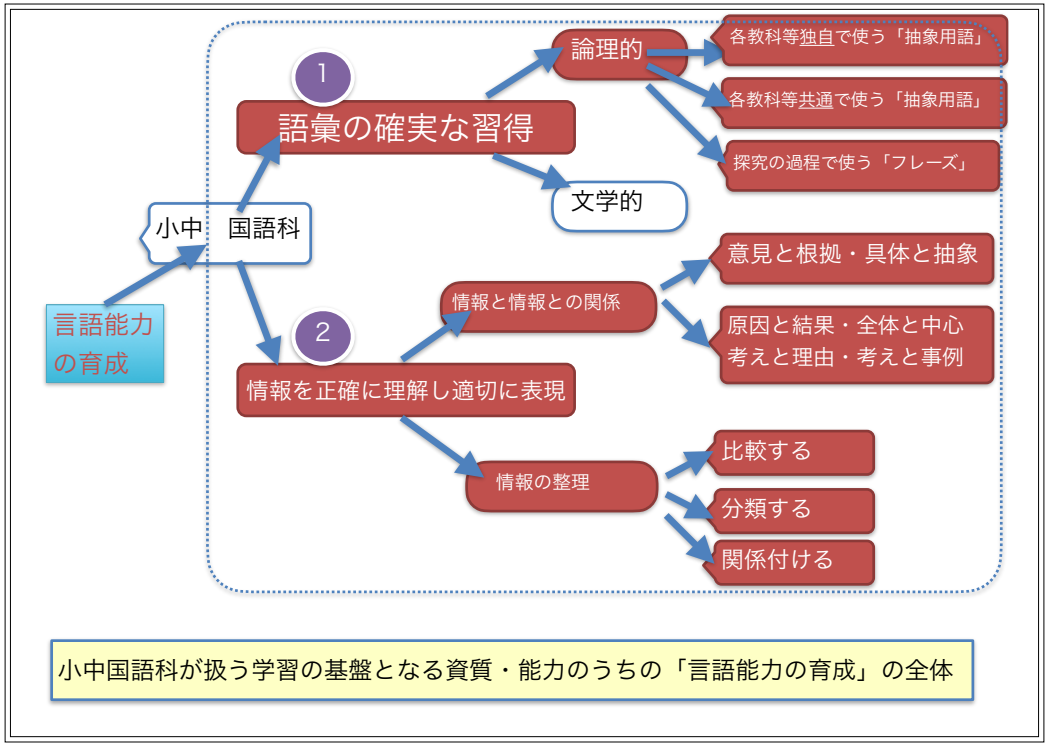
各教科等、独自で使う「抽象用語」	例）保健体育：疾病、症状、
各教科等、共通で使う「抽象用語」	例）仕組み、特徴、役割、原因、対策、影響
探究の過程に沿って使う「フレーズ」	例）問いを文にするときのフレーズ



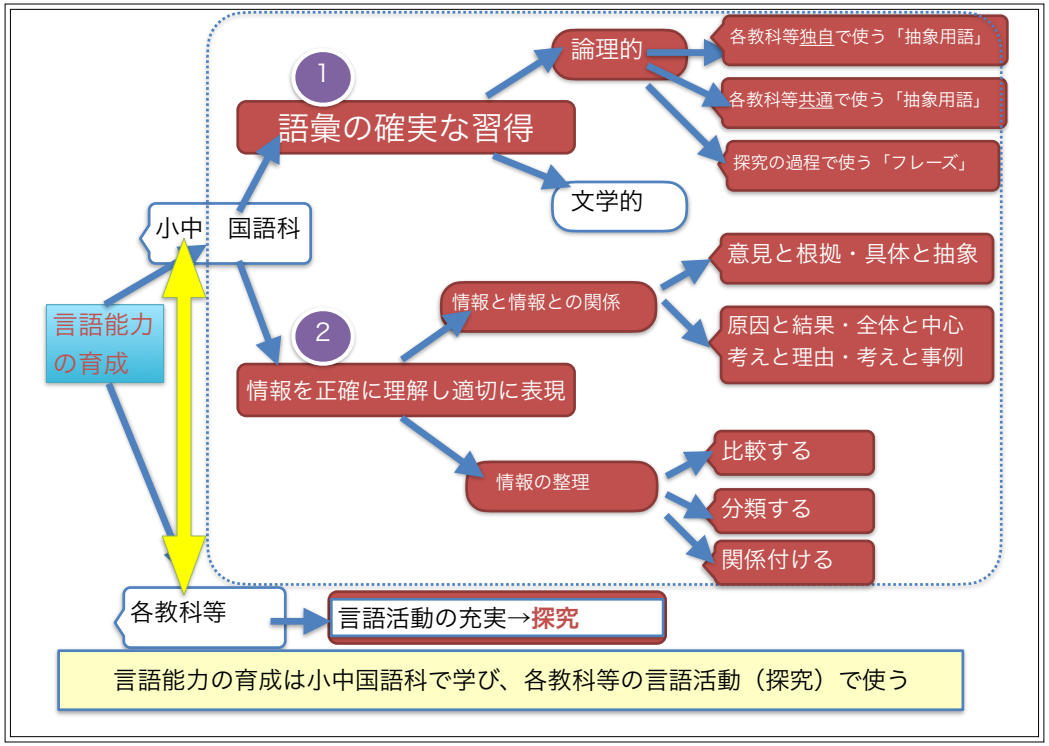
学習指導要領国語科　知識及び技能　情報

- 中学校国語　１年生　＜知識及び技能＞より抜粋
  - 原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。（情報と情報との関係）
  - 比較や分類，関係付けなどの情報の整理の仕方，引用の仕方や出典の示し方について理解を深め，それらを使うこと。（情報の整理）
- 中学校国語　２年生　＜知識及び技能＞より抜粋
  - 意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。
  - 情報と情報の関係の様々な表し方を理解し使うこと。
- 中学校国語　３年生　＜知識及び技能＞より抜粋
  - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。
  - 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。

- 小学校国語　１・２年生　＜知識及び技能＞より抜粋
  - 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。
- 小学校国語　３・４年生　＜知識及び技能＞より抜粋
  - 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報の関係について理解すること。
  - 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使うこと。
- 小学校国語　５・６年生　＜知識及び技能＞より抜粋
  - 原因と結果など情報と情報の関係について理解すること。
  - 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句の表し方を理解し、使うこと。



小中国語科が扱う学習の基盤となる資質・能力のうちの「言語能力の育成」の全体



言語能力の育成は小中国語科で学び、各教科等の言語活動（探究）で使う

MEMO　　印象に残ったこと

chapter２　平田中は、本年度どこに焦点を当てたのか？どこに絞ったのか

大阪府教育庁SE推進事業 言語能力をはぐくむモデル校

<研究主題>

生徒が主体的に参加できる授業をめざして

～ゴールを見据えた言語活動の研究

<テーマ>

～学校図書館を活用した言語活動の充実

2025 1023　茨木市立平田中学校

言語能力の育成

小中　国語科

1 語彙の確実な習得
- 論理的
  - 各教科等共通で使う「抽象用語」
  - 各教科等独自で使う「抽象用語」
  - 探究の過程で使う「フレーズ」
- 文学的

2 情報を正確に理解し適切に表現
- 情報と情報との関係
  - 意見と根拠・具体と抽象（初：中学）
  - 原因と結果・全体と中心
  - 考えと理由・考えと事例
- 情報の整理
  - 比較する
  - 分類する
  - 関係付ける

各教科等 → 言語活動の充実→探究

小中国語科での学びを、各教科等の探究で使う

探究のどの過程とリンクするのか？

資料提供が必要
＜学校図書館の活用＞
生徒の近く　まずはペラペラ見る＆対話

複数の情報収集
図書館資料（図書・WEB）
アンケート・インタビュー
実験・観察結果

課題の設定 方法
情報の収集 方法
整理・分析 方法
まとめ・表現 方法

情報をたくさん集める
↓
だから、整理する
・比較して考える
・分類して考える

整理

・情報と情報を関係付けて意見を作り、
・結論（意見）、客観的な事実、
　理由（～から）を構造化する

分析

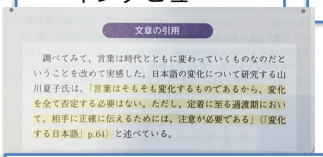
意見と根拠という情報と情報の関係　これが難しい

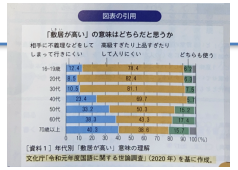
意見　主張　提案　結論

理由（～だから）
客観的な事実
　文章の引用「　」
　　本、
　　ネット、
　　インタビュー

理由（～だから）
客観的な事実
　図表の引用
　　グラフ（実験調査結果）
　　表（実験調査結果）

理由（～だから）
客観的な事実
　具体的な事例
　　自分や多くの人が体験していること
　　写真や絵





情報を集めながら整理（比較・分類）し、 整理

情報と情報を関係付けて意見を作り、
結論、客観的な事実、理由づけを構造化する　分析

意見　主張　提案　結論

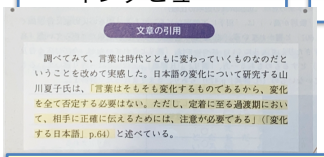
理由（～だから）
客観的な事実
　文章の引用「　」
　　本、
　　ネット、
　　インタビュー

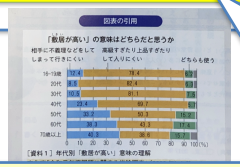
理由（～だから）
客観的な事実

理由（～だから）
客観的な事実

資料提供が必要
＜学校図書館の活用＞
提供した資料は、事実を集めていることになる

・答えは、資料の中にはない！
・知りたいことに繋がる（関係する）情報を集める





情報を集めながら整理（比較・分類）し、 整理

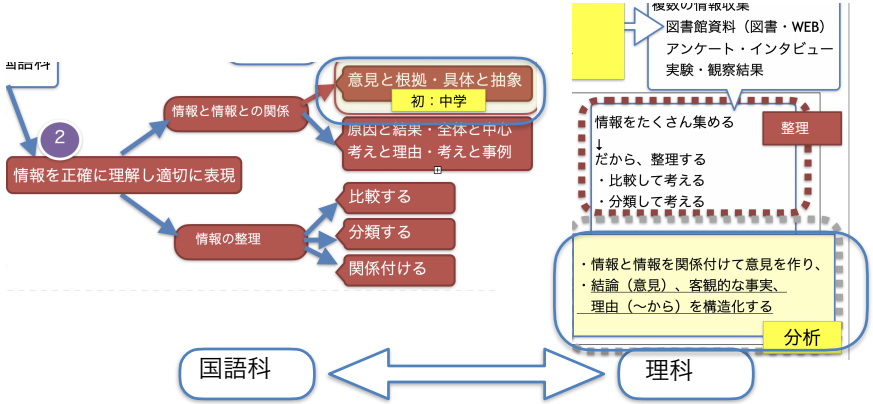
情報と情報を関係付けて意見を作り、
結論、客観的な事実、理由づけを構造化する　分析

事例）発電のしくみ：
情報を正確に理解し表現

思考・判断・表現

日常生活や社会で使われているエネルギー資源について、実験結果やデータを分析して解釈しているなど、科学的に探究している。

3 エネルギーの有効利用
・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、どのような取り組みができるかを考える。
4 本時
・持続可能な社会をつくるためには新しいエネルギー資源やエネルギーの有効利用の方法の開発が必要であることを理解する。
5
目的に応じて必要な情報を見つけ、根拠を明確にして考えを持つ力。



国語科 ⇔ 理科

○本時のねらいの確認

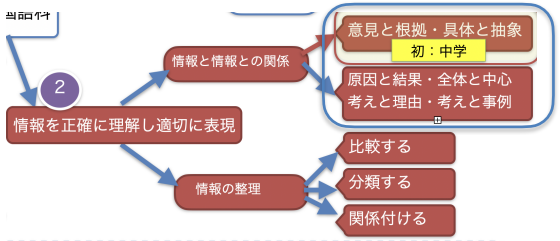
【本時のねらい】
・持続可能な社会をつくるために、エネルギーの利用に関して、資料を根拠として、自分が住んでいる地域に合った発電所を考える。

理科の授業

事例）自分の考えや気持ち、理由：
どうやって整理し組み立てて表現するのか？

- 英語

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識]不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、するべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、簡単な語句や文を用いて書いたり、話している。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、話そうとしている。



調べ学習をした職業について、説明する

国語科 ⇔ 英語科

【本時の目標】
自分の将来像や夢などについて考え、調べ学習をした職業について説明・発表することができる。

英語の授業

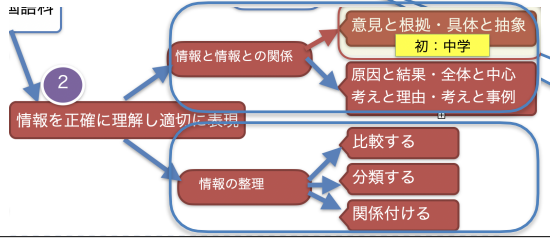
事例）考えと、必要な事実（情報を読み取り選別し要約する）との関係を捉える

- 国語

（2）教材観

「私のタンポポ研究」は「読むこと」における説明的文章の二つ目にあたる教材である。前出の「オオカミを見る目」では文章を構成する段落の役割とその関係性に着目して読みを深めていった。この教材においても説明的文章の読み方の基本を踏襲し、定着させることをねらいとする。その上で、グラフの読み取りを含め、より内容を深く精査し、情報の選別、取捨選択を行い、どのような情報が必要なのかを見極めながら要約する技術を身に着けさせたい。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	○自ら内容を把握するために読みを深め、読み取った内容と自分の考えを他者に説明しようとしている。 ○進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報に着目して要約しようとしている。

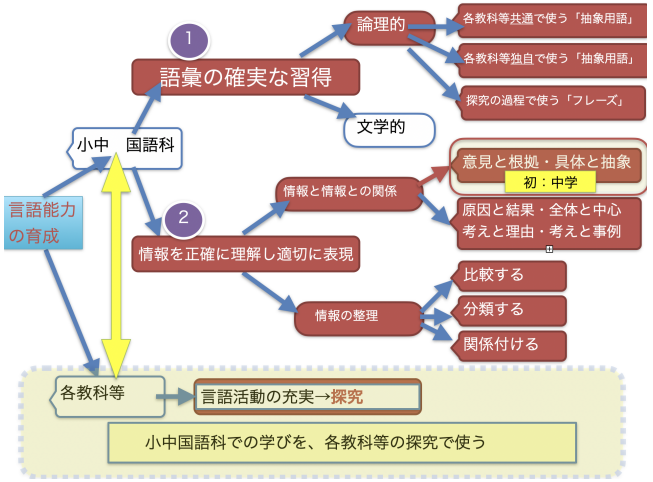


国語科の先生が、この指導内容を扱っているというイメージ、ありますか？

【本時のねらい】
- 本文の特徴を捉え、文章構成を考えることができる。
- 自分の考えを整理し、言葉にして班のメンバーに伝えることができる。
- 周りの意見と自分の意見を比較し、考えを深めることができる。

国語の授業

chapter３　まとめ　これからに生かす



言語能力の育成　見えていなかった、意識していなかった視点は？

言語能力の育成　これからの授業に生かしたい視点は？